

会長のページ 災害と災害医療	河野 雅行	3
日州医談 翔け！総合診療専門医	金丸 吉昌	4
退任挨拶 宮崎大学医学部教授退任挨拶	布井 博幸	6
エコー・リレー(501)	西 勇一, 日高 利彦	7
メディアの目 高齢者の自動車運転の適否もAIが判断	鈴木 豊之	11
国公立病院だより(宮崎県済生会日向病院)	林 克裕	14
宮崎大学医学部だより(外科学講座)	中村 栄作, 綾部 貴典, 土屋 和代	16
専門分科医会だより(精神科医会)	吉田 建世	18
医師国保組合だより 第21回歩こう会	西村 篤乃	30
診療メモ 経皮感作について	西田 隆昭	68

宮崎県感染症発生動向	8
あなたできますか？(平成27年度医師国家試験問題より)	10
各都市医師会だより	12
九州医師会連合会第362回常任委員会	19
宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会	
～All Miyazaki研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティー～	20
平成28年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会	22
平成28年度女性医師支援事業連絡協議会	24
日医インターネットニュースから	28
医師国保組合だより	32
ベストセラー	35
理事会日誌	38
県医の動き	43
追悼のことば	44
会員の異動・変更報告	45
ドクターバンク情報	49
行事予定	55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ	71
あとがき	74

~~~~~

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| お知らせ 宮崎県医師会メーリングリストのご案内     | 23 |
| 医療事故調査制度 相談窓口               | 25 |
| 宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置 | 27 |
| 第18回宮崎県医師会医家芸術展作品募集         | 36 |
| 「はまゆう随筆」原稿募集                | 37 |
| クールビズについて                   | 42 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています      | 53 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター           | 70 |
| 郡市医師会への送付文書                 | 72 |
| ご案内 「認知症の人と家族の会」のご案内        | 26 |
| 平成29年度第74回宮崎県医師会総会          | 35 |

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年 3 月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

大地（美瑛）

うねうねと続く丘。ここは美瑛の丘である。九州では見られない風景が広がる。

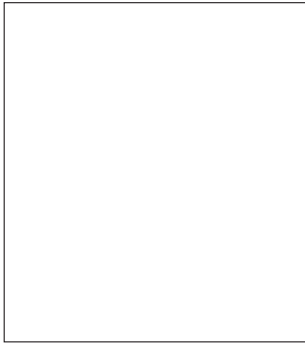
5月の畑は、トラクターが忙しく働いている。そんな時期は、観光客も疎らで気ままに散策できた。

四季を通して魅惑の風景が見れ、朝夕でも表情が変わる。そんな大地をいつまでも眺めたい。

都城市 <sup>やま</sup>山 <sup>じ</sup>路 <sup>たけし</sup>健

## 会長のページ

## 災害と災害医療

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

早いもので熊本地震から1年が過ぎました。「災害は忘れた頃にやって来る」と、言われます。最近では忘れる暇もない程に、しかも大きな災害が発生しています。「油断大敵」の諺もあります。油断していなくても時間、場所、程度、災害の種類等々想定困難なものが頻発しています。

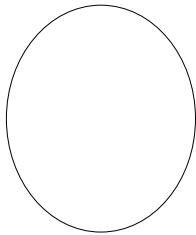
行政をはじめとした各部門で総合的な災害対策が練られて、訓練が繰り返されています。特に宮崎県の場合、南海トラフ地震が懸念されており、広範囲に及ぶ被害面積、数万人に及ぶ人的被害等が推定されています。大雨による水害・土砂崩れ、台風による風害は今でも頻発しています。宮崎県は多雨・台風地域と認識はされていても、それでも被害が発生しています。鳥インフルエンザや口蹄疫は毎年、国内外のどこかで発生しています。宮崎県でも数年ごとに発生していますが、前回の教訓を生かした迅速な対応により、被害の拡大を防ぐことができています。これは経験を生かした訓練の賜物と思われます。あらかじめ予想した訓練は重要ですが、実際は予想通りの災害が発生するとは限りません。訓練はこれだけやれば充分とは言えませんが、災害を防止するのは困難でも、被害を可及的に縮小する目的からもやるべきと思われます。

そのような災害時の医療については、様々な災害を経てDMATの活動が評価され、日本医師会でもJMATを立ち上げ、東日本大震災や熊本地震等での活躍は皆様ご存知のことと思います。DMAT、JMATの他にも多くの団体が災害時の医療提供の重要性を認識して災害派遣チームを立ち上げ、活動されています。当初は様々な困難もあったようです。被災地の状況は正常な形態とは大きく異なります。通信、ライフラインを始めとした社会構造そのものが壊滅しています。普段では何でもないことができない状態です。経験を経るごとに課題が解消されつつはありますが、未だ不十分とされています。熊本地震の関係者によれば、正しい情報を得るのが難しく様々な情報が錯綜混乱しており、統括・指揮等のコーディネータの役割が重要である由でした。

考えたくはありませんが、世界情勢から観ると、大規模なテロや戦禍に巻き込まれる可能性も否定できません。我が国は太平洋戦争以来70有余年にわたって有事に見舞われていません。これは世界史的観点からも稀有のことで、戦争体験者も少なくなり、「いくさ」に対するアレルギーが強い我が国において、言及するだけでも批判を受けそうな中で、戦禍に対する対策を計画するのは勇気を要します。対策が「杞憂」に終われば良いのですが、「備えあれば患いなし」との諺もあります。折しも国では安全保障関連法案を制定し、日医でもNPO法人のNBCR対策推進機構と共催で「爆発物災害対策担当者養成講習会」を予定しているように、我々現場の医療人としてはテロや戦禍対策も広い意味での災害医療の中に入れて考えておく必要があるのではないのでしょうか。

(平成29年 4 月20日)

## 日州医談



## 翔け！総合診療専門医

常任理事 かね まる よし まさ  
金 丸 吉 昌

## はじめに

今、新たに準備されている専門医の仕組みの中で、総合診療専門医が基本領域の第19番目の専門医として位置づけられた。

そして、

- ①日常遭遇する疾患や障害に対して適切な初期対応と必要に応じた継続医療を全人的に提供する
- ②疾病の予防、介護、看取り、地域の保健福祉活動など、人々の命と健康に関する幅広い健康問題について、適切な対応ができる医師

と定義された。

以下、総合診療専門医について、期待を込めて思いを述べる。中には偏った捉え方の部分もあるかもしれないが、一つの捉え方として御許しいただければ幸いである。

## 期待される役割

総合診療専門医には、地域によって異なるニーズに的確に対応できる「地域を診る医師」としての視点も重要であり、他の領域別専門医や多職種と連携して多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供することが期待されるとされた。

まさに、昔から全国のかかりつけ医や中小病院に勤務する医師が、かかりつけ医機能を発揮して活躍されている姿そのものではないだろうかと思う。

超高齢社会となり疾病構造が変化し、生活習

慣病が中心となった。そして治療の姿がキュアからケアへと変わってきた。多くの疾患を併発する高齢者や介護保険を利用する患者にとって、一人の領域別専門医や限られた地域だけで治療を完結することが、ますます厳しくなっている。

一方、全国のへき地、離島では、医療や社会資源に限りがあるため、昔から地域なりの地域包括ケアがなされてきたのではないかと感謝している。

地方の大学医局によるへき地への医師派遣機能が低下し、地域の医師確保が極めて厳しい状況にある。こういう中で、自治医科大学を卒業した医師が各県による配置によって、ぎりぎりではあるが、地域医療の崩壊をどうにか食い止めてきたのではないかと考えている。

地域医療構想が各都道府県で策定され、各二次医療圏ごとに調整会議が位置づけられ、検討が始まっている。

参照となるデータが示されている中で、今後どのような提供体制が地域で暮らす人々にとって期待され、現実の暮らしの中で、「あることのできる姿」なのかを議論していくことが重要と考える。

まさに、地域包括ケアシステムの構築が、地域の暮らしの中で大変重要な鍵となるのではないだろうか。ここにおいて中心的役割を期待されてくるのが、総合診療専門医ではないかと捉えている。

今日、活躍しているかかりつけ医は、そのまま総合診療専門医の姿ではないだろうか。また、新しく養成される総合診療専門医も、かかりつけ医として活躍していくことが、あるいは中小病院に勤務して、かかりつけ医機能もしっかり発揮していくことが、期待されるのではないか。そして、更に他の領域別の専門医、あるいはサブスペシャリストとの二人三脚で総合的な診療を提供していくことが、地域包括ケアの核となるのではないかと考えている。

#### 総合診療専門医の育成

総合診療専門医の育成の場として、全国のへき地、離島にある中小病院、診療所が最も適した場ではないかと考えている。

医師は「患者によって医師になっていく」ので、これらの場で国民にとって期待される総合診療専門医が育っていくのではないだろうか。

新しくなった日本専門医機構で、初めの定義等の原点に立ち返って、総合診療専門医の議論が重ねられ、養成のためのプログラム等が決定されることを大いに期待している。

当然ではあるが、他の18領域の専門医との調整の議論もしっかりと重ねていただき、総合診療専門医が、特に総合内科専門医との違いについて、国民から見ても、医療提供側から見ても、分かりやすく位置づけられることが必要ではないかと考えている。

総合診療専門医を取得後のサブスペシャリス

トへのキャリアパスも、他の内科専門医や外科専門医と同じように総合診療専門医に示すことが不可欠であり、また、他領域のサブスペシャリストから総合診療専門医への転向が位置づけられるように、しっかりと議論していただきたいと願っている。

これらを踏まえて、整備基準が決定され、プログラムを作り、これからの専攻医に提示していくことが大変重要ではないかと考えている。また、全国のかかりつけ医として活躍されている医師、中小病院等でかかりつけ医機能も担って活躍されている医師、へき地・離島で活躍されている医師たち全てに指導医として、総合診療専門医の育成に取り組んでいただくことが大変期待されるのではないだろうか。

#### おわりに

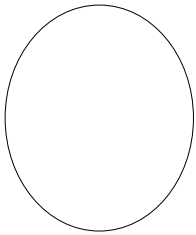
最後になるが、新たな専門医の仕組みが平成30年度から始まることが予定されている。地域で暮らしている人々から見て、分かりやすく、安心と信頼をもって、適切に医療が受けられることが最も基本であり、姿ではないだろうか。

そのためにも、今、大切な準備の段階でもある。限られた時間しかないかもしれないが、しっかりと集中して検討が重ねられ、新たな専門医の仕組みが、国民にとって、地域の未来にとって、安心で信頼できるものとなり、また、これから総合診療専門医を目指す医師にとっても分かりやすく、そして誇りを感じることできる姿になっていって欲しいと願っている。

参考文献：金丸吉昌、「総合診療専門医への期待」  
『日医ニュース 勤務医のページ』  
1325号2016. 11. 20

## 退 任 挨 拶

## 宮崎大学医学部教授退任挨拶

発達泌尿生殖医学講座小児科学分野 教授 <sup>ぬの</sup>布 <sup>い</sup>井 <sup>ひろ</sup>博 <sup>ゆき</sup>幸

2001年2月に第3代目の宮崎医科大学の小児科教授として49歳で赴任しまして、16年経ち、なんとか無事に退官を迎えることができました。ご支援いただいた医師会の先生方に感謝申し上げます。

県医師会では救急委員や予防接種委員を務めさせていただき、小児科医会や医師会の熱心な取組みが叶い、市からのご援助などもあり、新しい予防接種の早期の導入と接種率の向上ができたこともあり、重症の子ども達がかかり減少したことは大変すばらしいことだと思っています。また、宮崎県の指導で、健康づくり協会のご協力のもと、新生児タンデムマス・スクリーニングを宮崎県にスムーズに導入できたのも、大変喜ばしいことだと感謝しております。

就任当時は少子化が進み、小児医療加算もなく、病院経営にも足かせ的存在だったかもしれませんが、新たに設置された小児入院管理料2を取ることができ、やっと病院経営にも貢献できるようになり、安堵したことを覚えています。

また、就任直後から宮日新聞社をはじめ、県南、県西、県北の方々から、県央に至るまで、小児科医の医師不足が心配されておりました。この16年間で男女20名ずつ、合計40名の先生が小児科に入局してくれています。この間、他県へ就職された先生を除いても36名の先生が小児科医として育ってくれています。また、この間小児科医会の先生が7名亡くなられており、29名の新たな小児科医が育ったことになります。小児医療はマイナーな科と言いながら、小児の全ての臓器を診ているため専門領域は広く、臨床面では小児救急や検診業務から行政対応まであり、この数では到底みなさんのご要望には応えきれないと思いますが、焦らず一步一步充実

させることが重要と思いやってきました。

医学とは違いますが、コンピュータの技術の進歩は大変ありがたいのですが、昔使用していたフロッピーやMOディスクなどのデータが10年も経つと見られなくなって、困っています。医療の面でも、その進歩は著しいものがあり、10年前の知識や考え方が間違っていたり、役に立たないものになっているものも沢山あり、まさに知のパラダイムシフトが進行しています。子ども達の病気を理解し、新たな治療法を見つけるためには、どうしても新たな臨床研究が必要となります。幸いにも、宮崎大学では大学院医学獣医学総合研究科も活発で、動物を使った実験も可能です。宮崎は人の移動もそれほど激しくなく、地域の情報が集約しやすいという利点もあり、開業医の先生方との連携も、顔の見える関係で実施できるのが特徴となり、地域コフォート研究という点でも、地域から始めて世界に貢献できる研究が出ていってくればと思っやってきました。こうした中、在籍中の16年間で診させてもらった慢性肉芽腫症という病気で、新たな前処置による骨髄移植の導入により、より安全な移植ができたり、より軽い前処置で遺伝子導入が可能になったり、ERP効果を利用した新たな酵素補充療法などを模索することができました。難治性の病気で悩む子ども達を理解し、将来治せるきっかけになれば幸いです。

退官後はしばらく残らせていただき、微力ですが、宮崎のためになるよう努力したいと考えております。

16年間、皆さんに宮崎の小児科医を育てていただき大変感謝しております。

これから、益々、多くの立派な小児科の医師が育っていくことを願って、ご挨拶に代えさせていただきます。

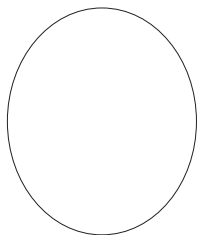
ありがとうございました。

## エコー・リレー

(501回)

(南から北へ北から南へ)

## 通勤手段について

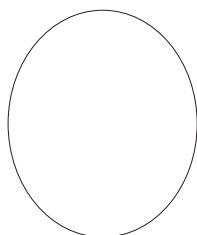
都城市 宮永病院 <sup>にし</sup>西 <sup>ゆう いち</sup>勇 一

宮崎市内の自宅から都城の職場までバスで通勤しています。同様の条件であれば自家用車を運転して通勤する人が多いと思いますが、長い時間運転するのがつらいし、仕事

帰りは連日眠気と闘いながらの運転になりそうで危険なので、バス通勤を選択しています。一応免許も車も持っていますが、運転自体があまり好きでなく、最小限に留めたいのが本音です。早朝に家を出て、まずバス停まで2kmほどの道のりを歩きます。バスに乗って1時間ほどで目的のバス停に着き、そこから5分ほど歩いて職場に到着します。Door to Doorで約1時間半、往復で約3時間を連日通勤時間に費やしていることになります。遠距離通勤なので時間がかかるという点は仕方ないことですが、それ以外にも、時間に縛られる、途中でどこかに寄るのが難しい、バスが運休しない限りどんな悪天候でも片道30分は外を歩かないといけない、などのデメリットがあります。一方でメリットも案外少なくありません。自分で運転しないので交通事故の加害者になる可能性がなく、移動中でも読書やパソコン作業やネットができ、睡眠もとれます。自家用車で高速道路を走って通勤するより安くつくし、強制的に毎日歩くことで適度な運動量を確保できています。購入後5年経過したマイカーの走行距離はまだ10,000kmを少し超えた程度であり、点検のたびに「もったいないですね」とディーラーの人に言われています。

[次回は、川南町の山中 聡先生にお願いします]

## 蘇るあの日の記憶

宮崎市 市民の森病院 <sup>ひ</sup>日 <sup>だか</sup>高 <sup>とし</sup>利 <sup>ひこ</sup>彦

2017年4月4日にシリア北部で起きた化学兵器を使用したとみられる空爆で神経ガスのサリンが使われたとの報道があった。「サリン」を耳にして私に苦い経験が蘇る。1995年3月20日、当時防衛庁(現

防衛省)の医官であった私は、些細なアクシデントのため日頃乗る電車に乗り遅れ、六本木の勤務先へ移動中であつた。そして、遅刻の危機にある状況下で日比谷線、日比谷駅で電車が突然動かなくなった。長時間待機中、社内アナウンスで「茅場町で爆破事故があつた模様で現在運転を見合わせています」との放送あり。その後「隣の霞が関駅で事故のため日比谷線は使用できません。他の交通機関をご利用下さい」との最終アナウンスがあつた。心の中で「大遅刻だな」とつぶやきながら勤務先へ移動した。勤務先に到着と同時に「おまえ大丈夫か」と同僚、上司から一斉に声をかけられた。その時「地下鉄サリン事件」を初めて認識した。いつもの通勤電車に乗っていたら、隣の霞が関駅でこの事件に遭遇するタイミングだったと思いゾッとした。偶然の小さいアクシデントのため一本電車に乗り遅れたことで、反って大きなアクシデントを避けることが出来たと神様(ご先祖様)に感謝したことを記憶している。人生、どこでどの様に転ぶか分からないものである。ちなみに、職場に着いた時、私の瞳孔は縮瞳しており、隣の駅から流れてきたサリンに曝露されていたことが判明した。硫酸アトロピンの静脈注射で事なきを得た。

[次回は、宮崎市の高城 一郎先生にお願いします]

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 3 月 ～

平成29年 2 月27日～平成29年 4 月 2 日(第 9 週～第13週)

## ■全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類：○結核12例：保健所別報告数を【図 1】に示した。  
患者が 6 例、無症状病原体保有者が 5 例、疑似症が 1 例であった【表 1】。患者は肺結核が 5 例、肺結核及びその他の結核(結核性胸膜炎)が 1 例であった。性別は男性 4 例・女性 8 例で、年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類：報告なし。

4 類：○つが虫病 1 例：都城保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状として頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。

○レジオネラ症 2 例：宮崎市保健所管内で報告があった。いずれも 60歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として、発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎等がみられた。

5 類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で、主な症状として腸炎、一時的な下痢がみられた。原因菌は *Enterobacter aerogenes* であった。

○急性脳炎 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。0～4歳で病原体はロタウイルスであった。主な症状として発熱、痙攣、意識障害、頭部MRI異常、失調様歩行等がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。30歳代で、主な症状としてショック、DIC、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状がみられた。血清群は A 群であった。

○後天性免疫不全症候群 4 例：宮崎市(3 例)及び高鍋(1 例)保健所管内から報告があった。

・20歳代及び40歳代男性で無症候性キャリアであった。

・40歳代男性で急性HIV感染症であった。主な症状として発熱、全身倦怠感、上肢筋肉痛、口腔カンジダ、顔面神経麻痺がみられた。

・50歳代男性でAIDSであった。指標疾患はカンジダ症、サイトメガロウイルス感染症で、主な症状として発熱、全身倦怠感、呼吸不全がみられた。

○侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として発熱がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

○侵襲性肺炎球菌感染症 3 例：宮崎市(2 例)及び都城(1 例)保健所管内から報告があった。

・70歳代が 2 例で、主な症状として発熱、意識障害、菌血症等がみられた。いずれもワクチン接種歴は不明であった。

・80歳代で、主な症状として全身倦怠感、意識障害、肺炎、菌血症がみられた。ワクチン接種歴は平成27年に 1 回であった。

○梅毒 2 例：小林及び高鍋保健所管内から報告があった。

・30歳代男性で、病型が早期顕症梅毒(I 期)であった。主な症状は扁平コンジローマであった。

・50歳代男性で、病型が無症候であった。

○破傷風 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。80歳代で、主な症状として開口障害、嚥下障害、発語障害、強直性痙攣等がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明であった。

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は7,873人(定点あたり172.6)

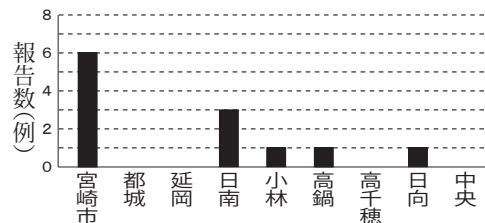


図 1 結核 保健所別報告数

表 1 結核 病型別報告数(例)

|                     |   |
|---------------------|---|
| 肺結核                 | 5 |
| 肺結核及びその他の結核(結核性胸膜炎) | 1 |
| 無症状病原体保有者           | 5 |
| 疑似症患者               | 1 |

表 2 結核 年齢別報告数(例)

| 年齢   | 報告数(人) |
|------|--------|
| 30歳代 | 1      |
| 40歳代 | 1      |
| 60歳代 | 1      |
| 70歳代 | 1      |
| 80歳代 | 6      |
| 90歳代 | 2      |

## 前月との比較

|                | 2017年 3 月 |          | 2017年 2 月 |          | 例年との比較 |
|----------------|-----------|----------|-----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)    | 定点当たり(人) | 報告数(人)    | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 5,086     | 86.2     | 8,403     | 142.4    |        |
| RSウイルス感染症      | 116       | 3.2      | 81        | 2.3      |        |
| 咽頭結膜熱          | 122       | 3.4      | 99        | 2.8      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 399       | 11.1     | 316       | 8.8      |        |
| 感染性胃腸炎         | 1,614     | 44.8     | 1,381     | 38.4     |        |
| 水痘             | 66        | 1.8      | 64        | 1.8      |        |
| 手足口病           | 180       | 5.0      | 126       | 3.5      | ★      |
| 伝染性紅斑          | 50        | 1.4      | 65        | 1.8      |        |
| 突発性発しん         | 127       | 3.5      | 112       | 3.1      |        |
| 百日咳            | 2         | 0.1      | 0         | 0.0      |        |
| ヘルパンギーナ        | 11        | 0.3      | 3         | 0.1      | ★      |
| 流行性耳下腺炎        | 40        | 1.1      | 45        | 1.3      |        |
| 急性出血性結膜炎       | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 36        | 7.2      | 38        | 7.6      |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 2         | 0.3      | 6         | 0.9      |        |
| クラミジア肺炎        | 0         | 0.0      | 0         | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 22        | 3.1      | 2         | 0.3      | ★      |

★ 例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い

※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

で、前月の80%、例年の81%と減少した。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎(ロタウイルス)と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザとマイコプラズマ肺炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は5,086人(86.2)で前月の約0.6倍、例年の約0.9倍であった。日南(135.2)、小林(122.0)、延岡(93.1)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳未満が全体の22%、5～9歳が32%、10～14歳が17%、15～19歳が4%、20～59歳が18%、60歳以上が7%を占めた。

手足口病の報告数は180人(5.0)で前月の約1.4倍、例年の約1.9倍であった。小林(15.0)、都城(8.8)、中央(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の報告数は22人(3.1)で前月の約11倍、例年の約1.7倍であった。日向(16.0)、宮崎市(4.0)、高鍋(2.0)保健所から報告があり、年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。

## ■月報告対象疾患の発生動向

＜2017年 3 月＞

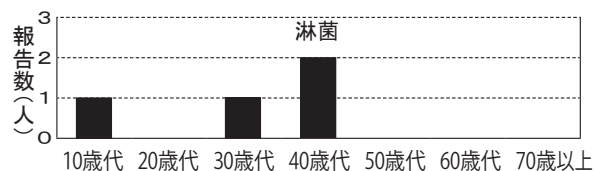
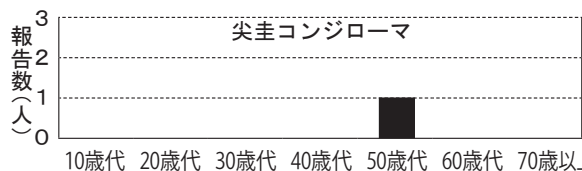
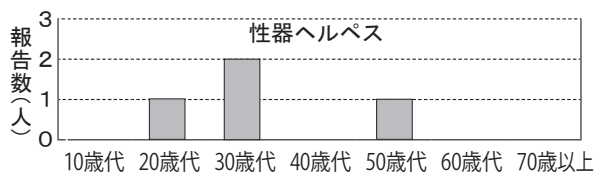
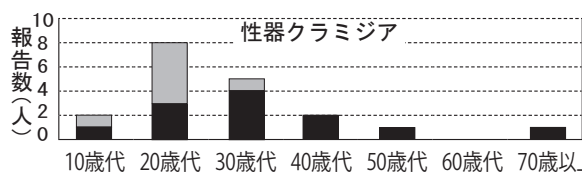
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は28人(2.2)で、前月比70%と減少した。また、昨年3月(2.5)の85%であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約1.0倍、昨年3月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約4割を占めた。(男性12人・女性7人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人(0.31)で、前月の1.0倍、昨年3月の0.8倍であった。(女性4人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月の約0.1倍、昨年3月の0.5倍であった。(男性1人)。
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月の約0.4倍、昨年3月の1.0倍であった。(男性4人)。



■男 ■女

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は26人(3.7)で前月比144%と増加した。また昨年3月(3.6)の約1.0倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数26人(3.7)で、前月の約1.5倍、昨年3月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約8割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

## ■病原体検出情報(微生物部)

|    | 検出病原体                                    | 件  |
|----|------------------------------------------|----|
| ウ  | アデノウイルス 31型                              | 1  |
|    | コクサッキーウイルス A6型                           | 1  |
|    | コクサッキーウイルス A 16 型                        | 3  |
| イ  | インフルエンザウイルス AH 1pdm                      | 3  |
|    | インフルエンザウイルス AH 3                         | 24 |
|    | インフルエンザウイルス B型(ビクトリア系統)                  | 2  |
|    | インフルエンザウイルス B型(山形系統)                     | 4  |
|    | ヒトヘルペスウイルス 6                             | 3  |
| ル  | ヒトヘルペスウイルス 7                             | 1  |
|    | 単純ヘルペスウイルス 1 型                           | 2  |
|    | 単純ヘルペスウイルス 2 型                           | 1  |
| ス  | ライノウイルス                                  | 1  |
|    | ヒトメタニューモウイルス                             | 1  |
|    | パルボウイルス B 19                             | 1  |
| 細菌 | <i>Legionella pneumophila</i> SG1        | 1  |
|    | <i>Salmonella</i> Enteritidis (09:g,m:-) | 1  |
|    | <i>Salmonella</i> O7 群血清型不明              | 1  |



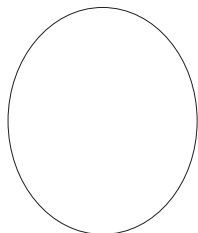
## あなたできますか？

－平成27年度 医師国家試験問題より－

(解答は48ページ)

- 1 QT延長のある患者で注意すべき不整脈はどれか。
  - a 洞停止
  - b 心房細動
  - c 心房粗動
  - d 多形性心室頻拍
  - e 発作性上室性頻拍
- 2 赤血球造血に**関与しない**のはどれか。
  - a 鉄
  - b 葉 酸
  - c G-CSF
  - d ビタミンB<sub>12</sub>
  - e エリスロポエチン
- 3 毛様体上皮で産生された房水の流出経路はどれか。
  - a 前房 → 隅角 → 後房 → 瞳孔
  - b 前房 → 後房 → 瞳孔 → 隅角
  - c 瞳孔 → 後房 → 隅角 → 前房
  - d 後房 → 瞳孔 → 前房 → 隅角
  - e 後房 → 瞳孔 → 隅角 → 前房
- 4 経尿道的手術が外科的治療の第一選択となるのはどれか。 **2つ選べ。**
  - a 腎細胞癌
  - b 尿管癌
  - c 膀胱結石
  - d 前立腺癌
  - e 前立腺肥大症
- 5 34歳の男性。統合失調症で入院中である。3年前に統合失調症と診断され、父親の同意によって医療保護入院となった。精神症状は難治であるが、本人には統合失調症について病識がなく精神科治療を受ける考えもないため、医療保護入院が続いている。2週前に肺癌で手術が必要と診断された。本人に伝えると「手術しないといけないのはわかるが手術は怖い。このまま癌で死んでもかまわない」と手術を拒否した。一方、父親は手術を希望した。  
現時点での対応として適切なのはどれか。
  - a 抗精神病薬を増量する。
  - b 本人の意向を無視して手術を行う。
  - c 手術をあきらめるように父親を説得する。
  - d 患者の同意を得るための努力をさらに続ける。
  - e 地域の精神保健福祉センターに判断を求める。
- 6 リハビリテーションについて正しいのはどれか。
  - a 嚥下訓練は食事の前に行うことを勧める。
  - b 認知症患者では脳幹機能回復を目標とする。
  - c 失語症訓練ではテレビの視聴が効果的である。
  - d 作業療法は基本的動作能力の回復を目的とする。
  - e 理学療法は社会的適応能力の獲得を目的とする。
- 7 高齢者の嚥下障害について正しいのはどれか。
  - a 水分の誤嚥は少ない。
  - b 体位の影響を受けない。
  - c 咽頭閉鎖不全を伴わない。
  - d サルコペニアの要因ではない。
  - e むせがなくても誤嚥を否定できない。
- 8 78歳の女性。一人暮らし。高血圧症と骨粗鬆症で月に1回診療所に独歩で通院していた。降圧薬を内服し、血圧は140/90mmHg前後で推移していた。2日前の定期受診では特に変わりはない。本日、患者宅を訪問した娘から電話で「母が自宅の寝室で倒れていて意識がない。すぐに来て欲しい」と往診の依頼があった。直ちに駆けつけると、患者の心拍と呼吸は停止し瞳孔は散大固定であり、身体の下になった部分の血液就下と圧迫部位の血液消退ならびに全身の硬直を認めた。  
まず連絡すべきなのはどれか。
  - a 警 察
  - b 消 防
  - c 保健所
  - d 救命救急センター
  - e 地域包括支援センター
- 9 85歳の男性。舌の痛みと息切れを主訴に来院した。半年前から舌の痛みがあり、2か月前からは労作時の息切れを自覚するようになった。食欲は減退し、時々悪心を感じることもあるが、食事は少しずつ摂取できている。下痢や便秘はない。75歳で胃癌のため胃全摘術を受けている。意識は清明。身長162cm、体重54kg。体温36.2℃。脈拍80/分、整。血圧110/60mmHg。SpO<sub>2</sub> 98% (room air)。眼瞼結膜は軽度貧血様である。舌は淡紅色で表面は滑らかである。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦で正中に手術痕があり、肝・脾を触知しない。下腿に浮腫を認めない。  
この患者で疑うべきなのはどれか。
  - a 腎不全
  - b 低Ca血症
  - c 鉄欠乏性貧血
  - d 巨赤芽球性貧血
  - e 微量元素欠乏症
- 10 34歳の初産婦。産褥0日で入院中である。妊娠12週の血液検査で血液型はO型RhD(-)と判定された。輸血歴はない。家族歴に特記すべきことはない。妊娠28週時の間接Coombs試験は陰性で、抗D人免疫グロブリンの投与を受けている。妊娠39週4日に自然陣痛が発来して入院し、2,760gの男児を正常経膈分娩した。新生児血液型はO型RhD(+)と判定された。  
母体に行う適切な対応はどれか。
  - a 経過観察
  - b アルブミン投与
  - c ハプトグロビン投与
  - d 副腎皮質ステロイド投与
  - e 抗D人免疫グロブリン投与

## メディアの目



## 高齢者の自動車運転の適否もAIが判断

日本経済新聞社 宮崎支局長

すず き とよ ゆき  
鈴 木 豊 之

改正道路交通法が3月に施行され、75歳以上の高齢者が運転免許を更新する際に講習予備調査(認知機能の検査)が義務付けられた。その結果、判断力や記憶力が低下していると認められると、専門医の臨時適性検査を受けることになる。高齢者による交通事故は増えており、法改正も時宜を得たものと分かるが、免許更新の判断を任される専門医のご苦労もいかにばかりかと察せられる。

自動車教習所を運営するオフアサポート(宮崎市)の人工知能(AI)を使った自動車運転評価システム「SDAP(スマート・ドライビング・アセスメント・プログラム)」は、専門医が更新の適否を判断するうえで心強い味方となる。

全地球測位システム(GPS)を搭載した教習車で、複数の教習指導員が教習コースを何度も走行し、データを蓄積。コンピュータに機械学習させ、模範走行を割り出す。車両にはGPSのほか、ハンドルの動きや脱輪を感知するセンサーもつけた。

眼球の動きを測定する装置は宮崎大学工学教育研究部の田村宏樹教授と共同開発した。被験者はカメラ3台を取り付けたゴーグルを装着し、正面の映像と左右の眼球の動きを装置が捕捉する。

SDAPでは、模範走行と実際の走行とを比較

するほか、坂道発進での後退距離や信号が赤に変わってからブレーキを踏むまでの反応時間、交差点での視線やハンドル角度なども把握できる。隣席に乗車した指導員の操作で、疑似人形を路上に飛び出させ、それへの対応なども数値化できる。

開発のきっかけは、医師から「病気の後遺症のある患者が運転を再開できるか、判断してほしい」と相談を受けたこと。最近では、高齢者の運転を案じる家族から相談されたり、自主返納した方がいいかどうかの判断を求められたりもするという。

実際に、高齢者に教習車で教習所のコースを走ってもらった後、同乗した指導員が「後方確認をしなかった」「ブレーキを踏むのが遅い」「一旦停止しなかった」などと指摘しても、「そんなことはない」と言い張る高齢者が多いという。

服部幸雄社長は「SDAPを使えば、実際の運転を可視化できるので、判断材料として使え、高齢者本人も納得してもらえる」と話している。

AIによる無人走行の実験も続いており、高齢者の運転の適否も医師ではなく、AIが判断する。囲碁でもAIが名人に打ち勝つ時代、AIが人に代わって担う分野はますます広がっていくのだろう。

## 各郡市医師会だより

### 児 湯 医 師 会

児湯医師会では3月9日に定例理事会が監事1名の参加のもと開催されました。現在の会員数は72名(A会員38名, B会員34名)です。永友和之会長, 蟻塚高生副会長他, 12名の理事で運営されておりますが, 1名の理事が辞任されたと報告されました。今回の会議で29年度の予算案, 事業計画案が提案され, 事業計画はほぼ例年通りでしたので問題なく承認されました。予算案では, 看護学校の運営経費による大幅な赤字が計上されていました。赤字幅の増加の原因としては, 受験者, 入学希望者の減少, 補助金の廃止等があげられていました。追加募集等赤字幅をできるだけ減らす努力を行うことで承認されました。

しかし, これは児湯医師会だけの問題ではなく, 看護学校を有する他の医師会にも共通の問題と考えます。受験希望者の減少の原因としては1. 少子化, 2. 人手不足による他業種への人材の流出, 3. 医療, 福祉の労働条件を敬遠する学生の増加等が考えられます。特に, 昨年度は県職員の職員採用試験でさえ, 競争倍率が低下したとのことです。現在のような経済状態が持続すると今後の看護学校の存続にも影響するのではと心配しています。

2月21日には在宅医療機関と二次救急医療機関との連携強化を図るため連絡協議会事業として, 西都児湯医療センター病院長の長田直人先生を講師に招き, 高鍋町のホテル四季亭で講演会が行われました。講演で28年度の児湯郡内から, 宮崎市内, 西都児湯医療センター病院等への救急搬送が1,407人(49.0%)で, 郡外の病院, 先生方にご負担いただいている状況を再認識させられました。特に脳血管障害では西都児湯医療センター脳外科への搬送が目立っていました。心臓内科, 心臓外科等の入院施設がないなど特殊な事情もあります。その中で, 26年度の1,480人(52.1%)からは少し減少しており, 高鍋, 川南, 都農の病院の努力により児湯郡内の救急医療体制も少しずつ改善しつつあると思われます。

(北村 洋)

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

当会では平成32年度の完成を目指して, 医師会諸施設の移転建替整備事業を進めています。今年始めに基本設計が出来上がり, 実施設計が今年度に始まります。ハード面は工程表に則って, 概ね順調に進んでいます。一方, ソフト面は様々な問題点が指摘されながらも未だ全体像が見えず, 外来・入院などの通常業務の安心・安全で効率的な運営に加えて, 災害拠点病院, ER型救急医療, 地域包括ケアや地域医療連携など住民の期待に応える病院作りをどう進めて行くかが大きな課題になっています。

(市来 能成)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

地域包括ケア・地域医療連携・在宅医療, 当医師会も市や多職種を含めた会議を定期的に行っております。会議に出席して毎回思うのは, 今までいかに介護保険について無知であったかということです。逆にケアマネ, 訪問看護師, ソーシャルワーカー他多職種の方々の知識の豊富さに驚かされ, 会議に取り組む真摯な姿勢に感心してしまいます。都城地区はまだまだシステム構築には程遠いですが, 彼らの熱意, 真剣さがあれば必ず都城市独自の誰もが安心できるケアシステム構築ができると手ごたえを感じているところです。

(瀬ノ口 洋史)

## 延 岡 市 医 師 会

平成29年度に延岡市と延岡市医師会が合同して、在宅医療介護支援センターを創設する。その主旨は、これから20～30年は続く高齢化社会に対応して、医療(在宅医療)と介護の連携を図ろうとするものである。

これまで戦後の日本の復興を支えてこられた高齢者に対する政府の政策は、年々階段外しのごとく厳しくなっている。反対に小児医療は、少子化問題に重点をおき、毎月の医療費を無料に近い定額化したことによって、コンビニ受診のような過剰な受診が増えてしまった結果、危機に瀕している。

今こそ、高齢者(特に後期高齢者)の現状に目を向け、医師会と市が協力し合い、高齢者が安心して生活でき、適時適切な医療及び介護が提供されるよう努力していく次第である。

(丸山 洋一郎)

## 日 向 市 東 臼 杵 郡 医 師 会

昨年9月の台風12号で延期になっていました日向市健康まつりが、「健康でつながれ 広がれ 笑顔の輪」をテーマに、3月19日(日)日向市中央公民館で開催されました。毎年1回開催されている健康イベントで、この日を楽しみに来場される市民の方も多いようです。

当医師会は、かかりつけ委員会の先生方の協力により、骨密度測定、血圧測定、健康相談を毎年実施しています。健康相談は、開放的な場で気軽に医師と面談ができるため、受付前から長蛇の列ができるほど好評です。(渡邊 康久)

## 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

後期高齢者の保険証にも臓器提供の意思表示を記載する欄が設けられている。私の母は84歳で、これからどのような命の閉じ方をするのか

判らないが、その時果たして利用可能な臓器が残っているのだろうか。臓器提供はもちろん崇高な行為である。しかし後期高齢者にはむしろ「自分の終わり方」の意思表示として延命治療に関して記載をする欄を設けるか、併記するのが実用的なのではないだろうか。(黒木 重晶)

## 南 那 珂 医 師 会

介護認定審査で更新申請有効期間が前回要支援→今回要支援が24か月まで可能となりました。しかし、一次判定が、支援1,2でも認知機能低下、介護の手間がかかる例が増加しています。介護審査研修会で、各合議体の二次判定に、有意な差が出た症例がありました。手間の判断が難しくなっています。半年で悪化はないが、有効期間24か月となると？再申請すればいいんですが、合議体の判断で差がでるのでは…と考えてしまいます。皆悩んで判定しています。自分も迷った時は、違った目で再考が必要だと思いました。(井藤 健)

## 西 諸 医 師 会

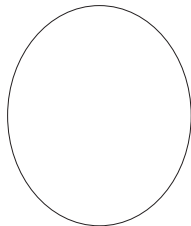
今年は桜の開花が遅く例年ではこの入学式の時期には見頃を過ぎているのですが、先日ようやく開花宣言があったと思ったらこの2日間堰を切ったようにどっと咲き始めました。やはり満開の桜は卒業式より入学式の方が似合っているような気がします。

本年の小林看護医療専門学校の新入生は看護学科37名、医療秘書科2名でいずれも定員割れしています。やはり医療介護系の人材不足の解消はまだまだ先のことなのでしょう。一方、2年前に入学した一期生が3年生となりました。来年の春はいよいよ国家試験です。この3年間の成果が試されることになります。桜満開の春が来るように心から応援する次第です。

(河内 謙介)

## 国公立病院だより

### 宮崎県済生会日向病院



はやしかつひろ  
林 克裕 院長

#### 1) 社会福祉法人恩賜財団 済生会(以下済生会)と しての使命

済生会は、明治44年に明治天皇の勅語「貧しくて医療を受けられず、天寿を全うできない者がいるのは私の最も胸を痛めるところである。こうした人々に無償で医療を施し、それによって生を救う」により設立されました。この理念を具現化するために、済生会では「無料低額診療事業」に取り組んでいますが、宮崎県での認知度は低く、行政機関と協力し、広報活動を行っています。

#### 2) 済生会日向病院(以下日向病院)の使命

全国の83の済生会病院ではそれぞれの地域のニーズに応じた形態を取っています。日向病院は、日向入郷医療圏(人口約10万人で本県の二次医療では最も広範な面積をカバーしている)の基幹病院として重要な役割を果たしてきましたが、平成17年度の新臨床研修制度施行に伴う内科医の退職による内科病棟閉鎖により、その責務を果たせない状況が続きました。平成21年、横田前院長の就任を契機に閉鎖中の病棟に回復期リハビリテーション病棟を設置する積極的な運営に転換し、平成23年には職員数245名(常勤医師数14名)、許可病床数204床、一般病床107床(感染症4床)、回復期47床、療養型病棟50床のケアミックス型病院となりました。平成26年小児科医1名、平成27年健診医1名、平成28年内科医4名が加わり、平成28年末には、内科8名(1名は健診科兼務)、外科3名、脳外科3

名、整形外科1名、放射線科1名、泌尿器科1名、小児科2名、健診科1名の体制が整いました。さらに、平成29年1月に消化器内科1名が加わり、増加する一方の消化管内視鏡需要への対応が可能となりました(内視鏡室の拡張も併せて実施)。4月からは泌尿器科医2名体制となり、高齢化に伴い増加する前立腺肥大や前立腺がんの手術が可能となりました。また、外科領域では県内で初めて内視鏡下手術支援ロボットを導入し、積極的に腹腔鏡下の手術を取り入れ、入院期間の短縮や負担軽減を行っております。

地域完結型医療の中核病院としての役割を果たすために、常勤医師だけでなく、宮崎大学医学部や日向病院のOBの先生の協力を得て、呼吸器内科、肝臓内科、感染症・膠原病内科、循環器外科、小児循環器科、小児内分泌科、耳鼻咽喉科、眼科、形成外科、漢方、婦人科健診などの専門診療も行っています。

日向病院は平成9年、災害拠点病院の指定を受けていましたが、平成27年、医療施設耐震化臨時特例基金を活用し、災害拠点病院としての機能を強化するために耐震構造の外來棟を新設しました。新外來棟の完成で外來機能はさらに充実し、患者数も前年度比で20%増加しております。今後は、地域住民のニー

ズが高い内科の午後診の再開を検討しています。

平成17年以前は、病院群輪番制二次救急の一翼を担っていましたが、内科医全員の退職により、輪番制を維持できなくなり、火曜日のみ外科医、脳外科医の2人体制を維持していますが、脳疾患については脳外科医と日向市消防局の hot line の整備による救急医療体制の強化に努めています。

### 3) 超高齢化社会における日向病院の役割

国債残高が1,000兆円を超える厳しい財政の中で、済生会は様々な税制上の優遇処置を受けておりますが、非課税に値する社会福祉法人として社会的責務を果たしているのか、厳しく問われています。このような逆風の中で、今後の日向病院の進むべき方向は、超高齢化社会を迎えるに当たって、医療だけでなく、福祉にも貢献することであると考え、昨年7月訪問看護ステーションを独立させました。開設当初は24名の利用者でしたが、わずか半年で50名近くに増えており、地域住民のニーズが高いことを実感しております。さらに、病院から在宅医療への国策に従い、在宅医療にも力を入れています。在宅医療には、訪問看護ステーションによる支援だけでなく、在宅医療を担当する医師が不可欠ですが、宮崎大学医学部第二内科OBの久保田哲代先生が日向病院に勤務してくれることになりました。久保田先生は、東京で20年間在宅医療を手がけてきたスペシャリストで、わずか半年で20数名の方の在宅看取りをしています。在宅看取りに立ち会った看護師の感想：「残された家族は患者の死を悲しみではなく、天国(あるいは浄土)への旅立ちと受け止められ、満足感に溢れていました。患者の顔

も葬式で見るデスマスクではなく、‘与えられた生’を精一杯生き切ったという顔をしていました。そのような家族の笑顔や患者の神々しい死に顔を拝見すると、‘治癒’を目指す病院の医療とは違う‘癒し’に根ざした在宅医療の本質を見たような気がしました」。在宅医療は日向病院のウリの一つに育ちつつありますので、在宅医療に関心のある先生は是非一度日向病院の見学に来て下さい。

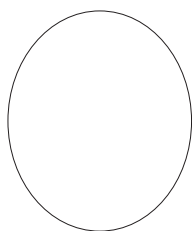
### 4) 医学教育機関としての日向病院の役割

- ・医学生教育；日向病院は平成17年度の新臨床研修医制度の影響をもろに受け、宮崎大学医学部からの医師派遣が途切れ、存亡の危機を迎えました。平成19年度から、宮崎大学医学部では地域枠入学制度が導入され、日向・門川出身の医学生の入学も増加しておりますが、これまでの宮崎大学医学部の医学教育では日向病院の地域医療における役割を知る機会がありませんでした。平成29年度から宮崎大学医学部医学科の2年生の早期学外体験実習、6年生のクリニカル・クラークシップを引き受けることにしました。10年後、20年後、日向病院での実習を経験した医学生が日向入郷地区の医療の将来を担ってくれるものと期待しております。
- ・研修医教育；宮崎大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院として、外科救急を学ぶ研修医を受け入れております。
- ・専門医教育；日本脳神経外科学会専門医研修プログラム、日本脳卒中学会専門医研修教育病院、日本外科学会外科専門医制度関連施設、日本東洋医学会研修施設の認定を受けており、それぞれの専門医を習得することが可能となっています。

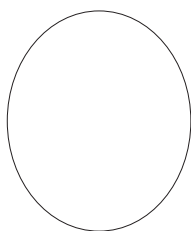
## 宮崎大学医学部だより

「宮崎大学医学部だより」では、毎月、医学部の各講座や附属病院の部門等をご紹介します。今回は平成27年4月より5つの分野に再編成された外科学講座について、5月号に「心臓血管外科学分野」、「呼吸器・乳腺外科学分野」、6月号に「肝胆膵外科学分野」、「消化管・内分泌・小児外科学分野」、「形成外科学分野」の予定で2か月にわたり掲載いたします。

### 外科学講座



なかむら くにひで  
中村 都英 教授



ななしま あつし  
七島 篤志 教授

#### 【外科学講座 心臓血管外科分野】

心臓血管外科グループは、中村都英教授を筆頭に、学内は6人のスタッフで日々の診療、教育、研究を行っています。中村教授が就任し、約5年が経過しました。その間、医局での最大の変化は、旧一外科、旧二外科が外科学講座として統一され、心臓血管外科分野、肝胆膵外科分野、呼吸器乳腺外科分野、消化管・内分泌・小児外科分野、形成外科分野の臓器別診療体制になったことです。それにより、患者さんがどの診療科を受診すればよいかわかりやすくなりました。また、新入医局員は、外科学講座に入局し、3年間は各分野を研修した後、自分の基本分野を決める方針としています。これにより新入医局員が外科の基礎的な部分を広く経験し、専門分野で大きく進歩できると考えております。以下心臓血管外科分野に関して述べます。

**診療** 心臓弁膜症、虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)、先天性心疾患、大動脈瘤(胸部・腹部)、閉塞性動脈硬化症、静脈疾患等を診療対象としております。2016年の総手術件数は胸部大動脈を含めた開心術が145例、腹部大動脈瘤

33例(ステントグラフト; 22例)でその他の手術を合わせ、約200例でした。2015年11月にはハイブリッド手術室が稼働し、石井廣人を中心に大動脈疾患に対し積極的にステントグラフト治療を行っています。本年は更に経カテーテル大動脈弁治療のサイトビジットに合格し、本格的に本治療を開始する予定です。この治療は、高齢や合併症等で治療を諦めておられた大動脈弁狭窄症患者にとっては福音となる手術で、医師会の先生方には是非、当科をご紹介いただければ幸いです。更に、開心術症例の複雑化と高齢化は顕著で約1割は透析の患者さん、約2割は80歳代の患者さんになり、ますますハイリスク症例を対象に手術を行っています。成績を落とすことなく、手術症例が増加しています。

#### 研究

横田敦子が血管収縮のメカニズムを、九州保健福祉大学第一薬理(山本隆一教授)と共同研究し、その研究で本年4月で学位を修得しました。大学院生の古川貢之は重症心不全、虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療の研究を、西村征憲は宮崎大学病理学講座(浅田祐士郎教授)の指導のもと動脈硬化について研究を続けています。また、東郷メディキットと共同研究で脳梗塞予防フィルターの開発を続け、最終段階に入りつつあります。

#### 関連病院と研修体制

外科学講座として卒後5年目まで外科専門医を修得すべく各分野を研修し、6年目から心臓血管外科分野を研修いたします。今年から新たに、森晃佑が心臓血管外科の研修を宮崎市郡医師会病院で開始します。心臓血管外科分野は、宮崎大学、宮崎市郡医師会病院(矢野光弘、松山正和、西村征憲、森晃佑)、県立延岡病院(早瀬崇洋、新名克彦、横田敦子)を中心に手術を行ってまいりましたが、昨年からは県立宮崎病院でも心臓外科スタッフとして白崎幸枝が研修を開始いたしました。また、国内外への留学希望(現在阪口修平が福岡市立こども病院に留学中)があれば可能な限り研修できるようにしたいと考えています。十分な症例数と国内外への研修を行うことにより、卒後10年での心臓血管外科専門医の習得を目標に体制作りを頑張っているところです。(講師 中村 栄作)

**【呼吸器・乳腺外科分野】**

平成27年 4 月 宮崎大学医学部「外科学講座循環呼吸・総合外科学分野」(旧 1 グループ(胸部外科))は、講座としては大講座になり、診療科は細分化され、外科学講座の中の「呼吸器・乳腺外科」としてスタートしました。診療においては、外来、病棟、検査、手術など、旧一外科、旧二外科の枠を継承し、旧一外科の先生方と協力体制を構築しながら、従来の外科専門医制度や新専門医制度の枠組みに対応して、未来へと進んでいるところです。

病院教授(准教授)の富田雅樹(昭和63年卒)、医療安全管理部准教授の綾部貴典(平成 3 年卒)、助教の土屋和代(平成11年卒)、助教の米井彰洋(平成16年卒)、卒後臨床助教の森浩貴(平成25年卒)らが、外来診療・病棟診療・教育・研究を行っています。外科専門医を取得するために、旧一外科系の医員の長友謙三(平成24年卒)、今年、外科学講座に新しく入局した 3 年目若き外科医谷口智明を加えて、外来診療・病棟診療・教育・研究を行っています。

**＜呼吸器外科分野＞**

主な対象疾患は、肺腫瘍(肺癌を含む)、気管・気管支腫瘍、自然気胸、胸壁腫瘍、縦隔腫瘍、横隔膜疾患、胸壁疾患、胸部外傷です。旧二外科ではこのグループを通称 1 組と呼んでいました。上記の他に食道外科も行っていました。診療科再編を期に食道外科は当科では手を引くことにいたしました。呼吸器・乳腺外科学分野として、新しく生まれ変わりました。

手術症例数は増加傾向です。慢性的な人員不足が続いていますが、少ない人員がフル回転の状態で充実した日々を過ごしております。

臨床研究では、肺癌に対する導入化学療法、腫瘍マーカーなどの肺癌術後予後因子の解析、

胸腔内播種病巣に対する胸腔内温熱化学療法等の臨床研究を進めています。マンパワー不足もあり研究も思うように進みませんが、研究と臨床の両方がバランスよくできる専門医、医療安全が実践できる外科医の育成をめざしています。少ない人数でも英文論文は昨年 7 編、2017 年はすでに 7 編Acceptされている状況で、頑張っています。(准教授 <sup>あやべ</sup>綾部 <sup>たかのり</sup>貴典)

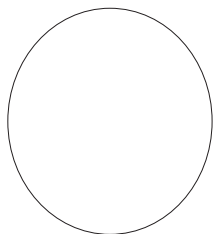
**＜乳腺外科分野＞**

2015年 4 月からは土屋が診療を行っています。消化管外科分野との兼務で、外来、病棟、手術、化学療法の業務を行っています。手術に際しては呼吸器外科分野の森先生、3 年目谷口先生に協力をいただきながら進めています。

昨年より新たに、乳癌の腋窩郭清術後患者のリンパ浮腫に早期に介入する取り組みを開始し、指導管理や圧迫療法、手動的リンパドレナージを含む複合的理学療法を強化しました。これには緩和ケア担当の外来看護師の助けがなくてはならず、連携して患者に関わってもらっています。また、ICG色素法を用いた近赤外線観察(PDEシステム)によるセンチネルリンパ節同定法をRI法に併用して行い、将来的にRIを用いなくとも行える安定した色素法の手技の確立を検討しています。また、形成外科とも協働し、乳房再建術の環境が整っています。

外科専門医を取得するには、乳腺外科を修練することは必須であり、3～4 年目(入局 1～2 年目)の若手の先生たちに積極的に乳腺グループに関わってもらっています。近い将来、乳腺専門医資格を持った多くの乳腺外科医が、宮崎の乳腺外科医療を当大学でリードしていけるように日々奮闘中です。(助教 <sup>つちや</sup>土屋 <sup>かずよ</sup>和代)

## 専門分科医会だより (精神科医会)



よしだ けんせい  
吉田 建世 会長

宮崎県精神科医会は、平成29年3月現在、A会員が39名、B会員が112名、大学と行政関係の医師であるC会員が23名の合計174名で構成されています。

年間の事業は、年1回の総会と、年2回の学術研究会としての『精神科医会懇話会』を開催しています。また、年に1回、機関誌「会誌」を発行しており、昨年度で第31号となりました。

第30号の記念誌発行の折には、精神科医会の歴史を紐解いてみました。精神科医会の始まりは、昭和49(1974)年8月の第1回「宮崎県精神科臨床研究会」に遡ります。当時の宮崎県精神科病院協会長の高宮澄男先生の要請で、学術を中心とした研究会を立ち上げることになり、当時県立宮崎病院の友成久雄先生を中心に、早稲田芳男先生、徳丸泰稔先生のお三方が世話人となり、折しも宮崎医科大学の開校の年だったこともあり、宮崎県精神科病院協会所属の医師に限らず、県内で精神医療に従事しているすべての医師を対象に、約20名で研究会が開始されました。その後、会員数も増え、昭和53年には「宮崎県精神科懇話会」と名称を変更し、昭和60年からは宮崎県医師会の専門分科医会としての「宮崎県精神科医会」となり、県医師会の傘下に入りました。歴代会長は、初代が谷口良昭先生で、平成4年からは鮫島哲也先生、平成10年からは後藤勇先生、平成18年からは吉田と引き継いでいます。

平成28年度の『精神科医会懇話会』での特別講演では、6月には産業医科大学精神医学教授の吉村玲児先生に「統合失調症のMRS研究」と題

し、12月には福岡大学精神医学教室教授の川寄弘詔先生に「特定機能病院におけるリエゾン精神医学の現状と課題」と題し、ご講演をいただきました。

さて、平成25年から地域医療計画において『精神疾患』が5疾病5事業に追加され、特にうつ病と認知症は重点項目となっています。平成27年12月より『ストレスチェック制度』が始まりました。平成29年3月にストレスチェックの中間結果報告がありましたが、実施状況は宮崎県内の955事業所中、640事業所が報告していて、全国が4割に対して宮崎県は7割近くと順調に推移しているものの、面接を申し出たのは290名、0.78%と少なかったようです。

認知症については、平成29年3月より道路交通法が改正され、75歳以上の人の3年ごとの運転免許証更新時に、認知機能検査を受けることになりました。また、75歳以上で一定の違反行為をした人は、臨時の認知機能検査を受けることになり、「認知症が疑われる人」が、かかりつけ医にて診察を受けることになりました。画像診断は必須ではなくなりましたが、自院での診察が困難と思われる場合は、免許センターが一覧表に掲示する医療機関に紹介することになります。診断書を書いた医師の責任については、日本医師会の見解は、国会答弁でもあったように、「患者に出した診断書について結果的にそれと異なる結果が生じたとしても刑事責任を問われることはない」との事です。ちなみに、宮崎県警察の予測では、認知症の患者数は75歳以上では、68,600人で、その中で診断書が必要な人は800人位になるとのことです。

今後精神科医会として努力していく所存ですので、会員の先生方のご協力をお願い申し上げます。

## 九州医師会連合会第362回常任委員会

と き 平成29年 3 月25日(土)

ところ 第一ホテル東京

### 1 開 会

### 2 九州医師会連合会長挨拶

(熊本県医師会会長 福田 稠)

### 3 報 告

1) 有床診療所の病床譲渡について(沖縄)

2) その他

### 4 協 議

1) 平成29年度(第39回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議(5月26日(金)熊本市)について(熊本)

原案どおりの日程で17:00からANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイで開催することが了承された。

2) 九州医師会連合会第363回常任委員会(6月3日(土)熊本市)の開催について(熊本)

原案どおりの日程で16:00からホテル日航熊本で開催することが了承された。

3) 九州ブロック日医代議員連絡会議(6月3日(土)熊本市)について(熊本)

会議の報告委員会は、医師会将来ビジョン委員会と地域医療対策委員会と決定された。当日の報告者は、該当県で調整の上、熊本県へ報告することとなった。

4) 九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会(6月24日(土)東京都内)並びに同連絡会議(6月25日(日)日医)の開催について(熊本)

原案どおりの日程で、連絡会議懇親会は18:00から第一ホテル東京で、翌日の連絡会議は、9:00から日本医師会館九州ブロッ

ク控室で開催することが了承された。

5) 核戦争防止国際医師会議(IPPNW)の日本支部への参加について(熊本)

核戦争防止国際医師会議の日本支部長に横倉日医会長が就任予定であり、日本支部の組織を強化するため九州各県とも協力していくことが合意された。

6) 九州医師会連合会第13回事務局長連絡協議会(4月21日(金)熊本市)の開催について(熊本)

原案どおりの日程で、16:00から熊本県医師会で開催することが了承された。

### 5 その他

1) 九州医師会連合会第364回常任委員会のスケジュールについて(福岡)

今年7月から九州医師会連合会担当県となる福岡県から、第364回常任委員会を7月8日(土)、9日(日)の両日で予定していることの事前案内があった。

## 宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会 ～ All Miyazaki 研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティ～

と き 平成29年 4 月 8 日(土)

ところ シーガイアコンベンションセンター

本年度医師国家試験に合格し、本県で初めて臨床研修を行う 1 年次臨床研修医を対象とした保険診療等説明会の後、2 年次臨床研修医及び関係者を加えて、研修医合同グループワーク、臨床研修講演会及び新研修医祝賀会を開催した。また、九州厚生局主催の 1 年次対象の新規登録保険医集団指導も本行事にあわせ、同日開催された。

### 新研修医保険診療等説明会

本年度医師国家試験に合格し、本県で初めて臨床研修を行う医師を対象として、保険診療等説明会を開催した。出席者58名(医科56名、歯科2名)であった。

説明会は、立元常任理事の司会により開会し、富田副会長から「医師会の紹介と宮崎県臨床研修・専門研修運営協議会」、濱田副会長から「医療事故調査制度」、小牧常任理事から「医事紛争」の説明を行った。また立元常任理事から、研修医の会費が無料であることを説明し医師会への入会をお願いするとともに、医師資格証のご案内をした。

### 研修医合同グループワーク

医療職が活き活き働くために「安全で安心な語り場づくり」と「ファシリタティブな医療現場と社会づくり」を目指し起業されたナースファシリテーターで、ひとづくり工房esuco代表の浦山絵里先生に、「仲間作り」をテーマとした参加型研修グループワークの講師をお務めいただいた。1・2 年次臨床研修医及び指導医等102名の参加があった。

### 宮崎県臨床研修講演会

米国メイヨー・クリニックでの救急研修を経て、ハーバード大学マサチューセッツ総合病院で指導医を務めた救急医療のスペシャリストで、「医師人生は初期研修で決まる！って知ってた?」、「考えるER」の著書でも有名な、東京ベイ・浦安市川医療センター救急集中治療科部長の志賀隆先生に、「あなたは知っていますか？初期研修の荒波を乗り越えるための厳選3つの秘訣?」と題し講演をいただいた。1・2 年次臨床研修医及び指導医、医学生等186名の参加があった。

### 新研修医祝賀会

祝賀会には、本県で研修を始める 1 年次の研修医を歓迎するために県から病院局長・福祉保健部長、宮崎大学から池ノ上学長・丸山医学部長・教授・医局長・卒後臨床研修センターの委員、県内の基幹型・協力型臨床研修病院の指導医など関係者及び2 年次の研修医が集合した。立元常任理事の司会により開会し、主催者を代表して河野会長が歓迎の挨拶を行った後、河野知事(畑山福祉保健部長代読)、池ノ上宮崎大学長から研修医へ激励の言葉を送った。次いで新研修医を代表して、福島理紗先生がお礼と研修への意気込みを述べ、菊池県立宮崎病院長の乾杯の発声で開宴した。宴の席上では、1 年次の研修医が一人ひとり自己紹介を行い盛会の裡に終了した。

なお、本会から 1 年次の研修医に記念の印鑑を贈呈した。

## 平成29年度新研修医

## ◆宮崎大学医学部

井 上 慶  
入 佐 浩 史  
岩 切 さと子  
上 野 鷹司郎  
内 山 尚 美  
小 川 宗一郎  
上 條 苑 子  
茅 野 正 行  
北 村 彩  
木 村 友 哉  
工 藤 陽 平  
久富木 冠  
古 郷 博 紀  
兒 玉 泰 俊  
笹 井 美 伶  
佐 藤 謙 成

猿 渡 英 美  
柴 田 菜都子  
鈴 木 康 人  
高 橋 巧  
竹 内 貴 哉  
伊達木 正 子  
徳 田 温 子  
戸 敷 和 浩  
長 島 陽 子  
中 武 康 隆  
鍋 倉 弘 樹  
畑 田 紘 志  
福 嶋 研 人  
福 島 理 紗  
福 永 幹  
堀之内 みどり  
松 川 卓 弘

松 本 昂 之  
山 添 早 織  
山 本 章 裕  
山 本 絵里子  
渡 邊 雅 子

## ◆県立宮崎病院

安 藤 隆 太  
井 上 隆 広  
金 本 滯  
川 越 隆 行  
小佐井 孝 彰  
椎 葉 律 哉  
瀬戸長 雄 介  
藤 崎 友基也  
黒 木 琢 也  
河 野 弘 樹  
田 畑 博 章

## ◆県立延岡病院

田 嶋 祐 香  
中 山 ひまり

## ◆県立日南病院

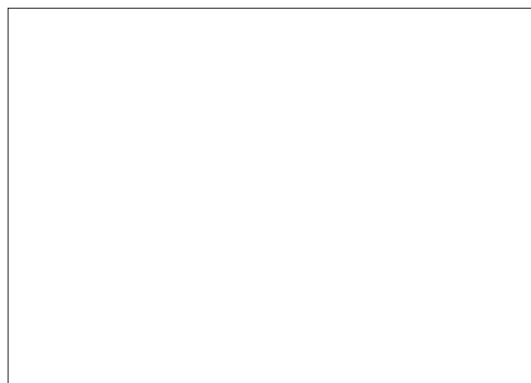
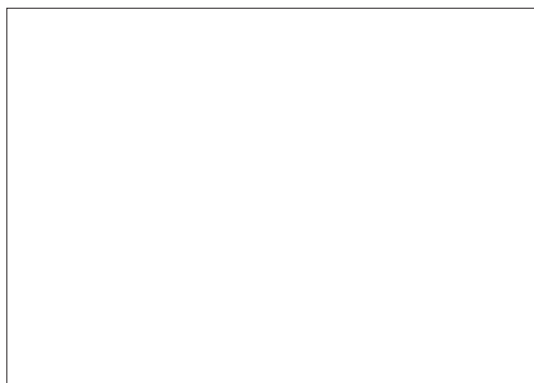
島 津 久 遵  
楯 真由美  
富 田 俊 介  
松 本 尊 行

## ◆古賀総合病院

大 島 みなみ  
桑 原 麻 衣  
堀之内 翔 一

## ◆宮崎生協病院

黒 木 将 英  
合 田 廷 大



## 平成28年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会

と き 平成29年 3 月17日(金)

ところ 宮崎県医師会館 5 階(日医TV会議)

羽鳥日医常任理事の司会により開会后、挨拶があり議事に入った。

**挨拶 日本医師会長 横倉 義武**

より多くの医師会に全国研修会管理システムをご利用いただきたい。本日はシステムの機能、卒前・卒後教育の視点から見た日医生涯教育制度、診療ガイドラインの活用促進、モデル・コア・カリキュラムについてお話をいただく。本日も講演いただく先生方、また平素より生涯教育制度ならびに日医かかりつけ医機能研修制度の推進にご協力いただいている先生方、事務局に御礼申し上げます。

### 議 事

#### 1 生涯教育制度について 羽鳥日医常任理事

##### 1) 生涯教育活動報告

平成27年度の単位取得者総数は113,334人(うち日医会員102,213人)で、日医会員単位取得率は61.2%、取得単位数+カリキュラムコード(以下、CC)数合計の平均は31.4となった。日医生涯教育認定証(平成25年～27年度の3年間に単位数とCC数の合計で60以上を取得した方を対象に発行)は、43,561人に交付された。

日医生涯教育協力講座セミナーについては、29年度は①「これからの高尿酸血症・痛風の治療戦略」と②「超高齢社会における高齢者のトータルケア～高齢者の健康寿命延伸に向けて～(仮)」の2つのテーマが開示され、①の開催期間は平成30年1月1日から平成31年12月31日、②の開催期間は平

成29年9月1日から平成31年8月31日までとされた。

日医e-ラーニングについては、配信コンテンツについて説明があり、今後もコンテンツを充実させていく旨の紹介があった。

全国医師会研修管理システムに関しては、4月1日以降のシステムバージョンアップについて説明があった。バージョンアップについては、①郡市区、都道府県医師会から日医へ年度末提出の申告書の直接送信、②CSVデータでの申告内容送信、③カナ・漢字・日医会員番号での受講者検索、④専門医機構による共通講習の認定申請、⑤受講記録の発行受講者一覧のCSV出力、⑦認定証発行状況の確認、⑧e-ラーニングの取得単位の確認が実装されとの説明であった。

##### 2) 今年度末の日医への単位等申請方法について

これまで入力した各講習会等の出欠情報を確定させ、その後4月頃までに届く自己申告分を入力する方法となる(CSV形式可)。例年どおり、郡市区医師会への提出期限は4月30日(日)、都道府県が研修管理システムに入力する期限は6月30日(金)まで、との説明があった。

##### 3) 来年度の専門医共通講習等の取扱いについて

原則、都道府県医師会主催とし、申請期

間は6か月前～1か月前とする旨の説明があった。申請はシステム上で行い、参加証明書の発行については主催者判断で良いとのこと(紙が望ましい)。

## 2 全国医師会研修管理システムの機能について

矢野日医総研主任研究員

4月1日以降に、新しいタブ「生涯教育申告書データ入力」「受講記録出力」が画面上に増設されるとの説明がなされた。医師資格証保有者向け機能についても説明され、受講履歴の確認、証明書印刷、また地域包括診療加算届用の証明書のPDF出力なども4月以降行える旨の説明があった。

### 講 演

## 1 卒前・卒後教育の一貫性から見た日医生涯教育制度の在り方を考えるーすべては21世紀の患者安全のためにー

長谷川日医生涯教育推進委員会委員長

現在の積み上げ方式の講義型医学教育から、アクティブラーニング方式へと改革を図っていくことが重要。知識・問題解決力をどう応用するかを各分野統合して、カリキュラムの根幹に据えることで質を保証したい。卒後も生涯継続して必要な能力の育成すること、日医生涯教育の大きな役割の一つである。

## 2 診療ガイドライン(Minds)の活用促進について

山口日医医療機能評価機構理事

今中日医医療機能評価機構理事

診療ガイドライン(Minds)の活用について、紹介があった。Mindsの定義としては、診療上重要度の高い医療行為について、エビデンスのシステマティックレビューとその総体評価、益と害のバランスを考慮し、患者と医療者の意思決定を支援するために最適と考えられる推奨ガイドラインを提示するもの。タブレット用アプリケーションも紹介された。

## 3 モデル・コア・カリキュラムの見直しについて

佐々木文部科学省高等教育医学教育課企画官

冒頭に次年度の医師国家試験は出題数が500から400に減る旨の報告があった。

28年度中に医歯学共通でモデル・コア・カリキュラムの6年ぶり3回目の見直しがあり「多様なニーズに対応できる医師・歯科医師の養成」が求められていくとの改定概要の説明がなされ、医師として求められる資質の文言について言及した。

出席者ー小牧常任理事、川端・横山主事

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### ◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### ◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118

## 平成28年度女性医師支援事業連絡協議会

と き 平成29年 2 月17日(金)

ところ 日本医師会館

平成29年 2 月17日、日本医師会館において「平成28年度女性医師支援事業連絡協議会」が開催された。

冒頭の挨拶で横倉日医会長は、日本医師会女性医師バンク開設以降の実績についてふれ、関係者の尽力に謝意を示すとともに、今後本事業の一層の活性化を目指す意気込みを述べた。その後、全国 6 ブロックをそれぞれ代表し、6 県(秋田、千葉、静岡、京都、山口、沖縄)が各ブロックでの取組みを報告した。報告内容は下記の通り。

### 秋田県(北海道・東北ブロック)

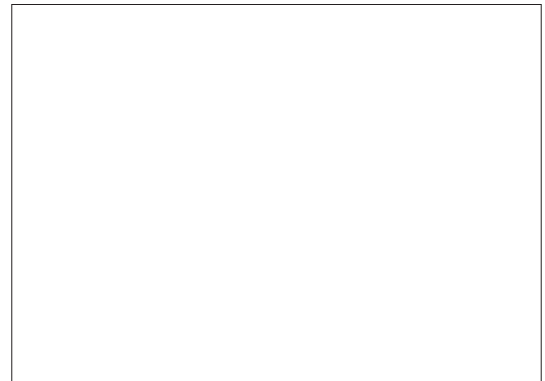
#### 蓮沼直子秋田県医師会男女共同参画委員長

秋田県のイクボスセミナーについて紹介。「イクボス」とは、「部下・スタッフのワークライフバランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織も結果を出しつつ、自らの仕事と私生活を楽しむことができる上司」と定義され、セミナーでは県医師会長、大学医学部長、医学部附属病院院長等が医療業界初のイクボス宣言を行った。今後、この取組みが広がり、イクボスが増え、県内すべての医療人が働きやすい環境が実現されることを期待している。

### 千葉県(関東甲信越・東京ブロック)

#### 松岡かおり千葉県医師会理事

千葉県医師会では、男女共同参画推進委員会を年 3 回開催しており、その成果として、本年 4 月から出産した女性医師への出産祝金支給が決まった。県の委託事業である「NPO 法人千葉



医師研修支援ネットワーク事業」では、県医師会からも役員として参画し、女性医師等就労支援相談窓口を設置・運営しており、相談件数は年々増加している。その他、茨城県や群馬県における保育支援事業について紹介した。

### 静岡県(中部ブロック)

#### 小林利彦静岡県医師会理事

石川県医師会の女性医師支援センターの多岐にわたる活動や、愛知県医師会の「県医師会イクボス大賞」等を紹介した他、三重県で27年度に開始した「女性が働きやすい医療機関認証制度」では5医療機関が認証を受けたことを報告した。中部ブロックでは、今後、各県担当理事やコーディネータ等のネットワークを構築し、情報共有・連携活動の強化を図る。

### 京都府(近畿ブロック)

#### 三浦晶子京都府医師会理事

奈良県医師会が県立医科大学女性研究者支援センターと共催で同大学 2 年生を対象に実施する「男女共同参画の理解を深める医学教室」およ

び受講者アンケート結果を紹介した。県医師会活動についても知ってもらう機会になった。また、京都府医師会では、平成28年 8 月に「医師のワークライフバランス委員会」を発足。男女共同参画の考えに基づく新たな事業展開を目指し活動を開始した。

#### 山口県(中国四国ブロック)

##### 今村孝子山口県医師会常任理事

山口県がブロック内 9 県に対して実施した介護に関するアンケート結果を紹介した。9 県中 7 県が、会員に対する介護支援の必要性があるとし、子育て支援同様、介護支援も重要な課題であることが再認識された。

#### 沖縄県(九州ブロック)

##### 外間雪野沖縄県医師会女性医師部会副会長

保育支援について、支援地域を拡大している長崎県医師会や利用実績を延ばしている宮崎県

医師会の取り組みを紹介した。また、熊本地震の際には、無料で保育(12日間)や臨時学童保育(4日間)が行われ、それぞれ155名、166名の利用があったことから、緊急時や災害時の保育ニーズの高さを実感した。

各ブロックからの報告を受け、質疑応答・総合討論があった後、女性医師バンク専任コーディネータより、新たな取り組み(ホームページの刷新、広報活動の強化、登録者へのフォローの強化、都道府県医師会との連携強化)についての説明および女性医師バンク・都道府県医師会間のネットワーク構築に向けての協力依頼があり、協議会は終了した。参加者は143名であった。

出席者一荒木常任理事、糸数理事、畠中主事

## 医 療 事 故 調 査 制 度

### 宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。

医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

**宮崎県医師会 電話 0985-22-5118**

#### 【受付時間】

平日の 8 時30分から18時、土曜日 8 時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専門電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

#### 【その他】

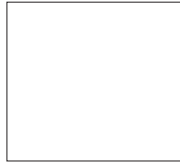
この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

## ご 案 内

## 「認知症の人と家族の会」のご案内 ～認知症になっても安心して暮らせる社会～

認知症の人と家族の会 世話人代表 うら べ こう いち  
浦 部 晃 一

認知症はご本人が一番大変な思いをされておりますが、さらに介護をされるご家族のお悩みやご苦労は筆舌に尽くしがたいものがあります。医療の役割は病気の進行を遅らせることですが、周辺症状は介護の仕方、つまり介護者の対応によって大きく異なってくると言われています。家族の会は30数年の経験の積み重ねによって、一人ひとりの異なる症状にどう対応するのが良いのか、介護者の対応の仕方のご相談やお悩みのお話を親身になってお受けしております。活動の中心は「つどい」、「電話相談」、「会報の発行」です。

|                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>「つどい」</p>  <p>参加者同志が悩みを打ち明け、共感することで、悩んでいるのは自分一人では無いことに気付く。そうすると心が軽くなり、介護にゆとりが生まれ、よき介護に繋がります。会員以外の方も体験参加が出来ます。(宮崎市では毎月第3土曜日)</p> | <p>「電話相談」</p>  <p>介護にお悩みの方々のご相談にいつでも乗れるように各県支部や京都本部に窓口を設けております。宮崎県支部にも毎月数件の相談が寄せられております。</p> |
| <p>「会報 ぼ～れば～れ」</p> <p>会報を毎月発行しております。寄せられたお悩み、介護の知識、医学的情報や世界の動向をお届けしています。</p>                                                                                                                                        | <p>講演会や、勉強会、認知症についての啓発活動も行っています。さらに、今年からは宮崎県の委託を受けて「若年性認知症のコーディネーター」業務も行うことになりました。</p>                                                                                         |

当会は1980年に「呆け老人をかかえる家族の会」として発足し、現在は公益社団法人「認知症の人と家族の会」として、京都を本部に全国47都道府県に支部がある全国組織です。会員数は11,200人強(宮崎県支部は170人程)で、認知症本人、介護家族、専門職、医師、更に認知症に関心を持つ方々が個人や企業、団体として正会員、賛助会員になっていただいております。ともに励ましあい、助け合って、人として実りある人生を送るとともに、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を願って活動しています。

しかし、「認知症の人と家族の会」の認知度はまだまだ低く、相談ケースが少ないのが現状です。診察の際、先生方から介護ご家族に、悩みを一人で抱え込まずに「家族の会」に相談してみたらと勧めただけであれば幸いです。ご家族の心の負担が少しでも軽くなるよう、先生方との連携を強めさせていただければ有難いと思っております。

### 連絡先：「認知症の人と家族の会」

宮崎県支部 TEL 0985-22-3803 〒 880-0806 宮崎市広島 1 丁目 14-17  
 県北地区会 TEL 0982-63-7076  
 都城地区会 TEL 0986-38-8033  
 小林地区会 TEL 0984-25-0707 (小林包括支援センター)

## お知らせ

宮崎県医師会・医師国保組合・  
医師協同組合事務局職員配置

平成 29 年 4 月 1 日付の人事異動による新しい配置をお知らせします。

| 所 属             | 役 職 名             | 氏 名       |
|-----------------|-------------------|-----------|
| 医 師 会           | 事 務 局 長           | 山 内 武 則   |
| 総 務 課           | 次 長（総 括）兼 課 長     | 竹 崎 栄 一 郎 |
|                 | 主 事               | 堀 口 美 香   |
|                 | 主 事               | 田 崎 圭 一 郎 |
|                 | 嘱 託               | 森 下 菜 摘   |
| 経 理 課           | 課 長               | 松 本 優 美   |
|                 | 係 長               | 渡 邊 純 子   |
|                 | 主 事               | 串 間 恵 子   |
|                 | 主 事               | 黒 木 亮 佑   |
| 学 術 広 報 課       | 課 長               | 牧 野 諭     |
|                 | 主 事               | 川 端 望     |
|                 | 主 事               | 横 山 葵     |
|                 | 主 事（特 別 嘱 託）      | 立 山 幸 恵   |
| 治 験 促 進 セ ン タ ー | 嘱 託               | 平 川 ゆ う 子 |
|                 | 業 務 課 長           | 輝 波 子     |
| 地 域 医 療 課       | 嘱 託               | 河 野 和 子   |
|                 | 課 長               | 久 永 夏 樹   |
|                 | 課 長 補 佐           | 鳥 井 元 進 一 |
|                 | 課 長 補 佐           | 野 尻 早 苗   |
|                 | 主 事               | 畠 中 ま ど か |
|                 | 主 事               | 福 田 里 紗   |
| 医 師 国 保 組 合     | 嘱 託               | 藤 井 陽 子   |
|                 | 事 務 局 長           | 山 内 武 則   |
|                 | 事 務 長 心 得 兼 課 長   | 杉 田 秀 博   |
|                 | 係 長               | 湯 浅 和 代   |
| 医 師 協 同 組 合     | 主 事               | 眞 竹 尚 子   |
|                 | 事 務 局 長           | 山 内 武 則   |
|                 | 事 務 長 兼 保 険 課 長   | 小 川 道 隆   |
|                 | 課 長 補 佐           | 大 野 正 博   |
|                 | 係 長               | 安 井 順 子   |
|                 | 事 務 次 長 兼 購 買 課 長 | 與 俊 弘     |
|                 | 係 長               | 永 田 彰 子   |
|                 | 主 事（特 別 嘱 託）      | 宗 守 沙 樹   |
|                 | 主 事（特 別 嘱 託）      | 吉 田 通 子   |

## 日医インターネットニュースから

### ■薬剤師不在の第2・3類販売に反対

#### － 中川副会長 －

厚生労働省は3月30日の厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会で、薬剤師不在時の薬局でも一定の条件下で登録販売者がいれば第2・3類の一般用医薬品(OTC)の販売を認める方針を示した。ただ同部会委員を務める2人の中医協委員はこの方針に反対。患者がOTCを安全に使うためには専門家の介在が必要と訴えた。

中医協支払い側委員を務める全国薬害被害者団体連絡協議会代表世話人の花井十伍委員は、「言語道断の規制緩和だ。患者が守られる仕組みを構想していただきたい」と訴えた。「反対としか言いようがない。専門家の介在が重要だ。かかりつけ薬剤師の役割明確化などと併せて、安全にOTCを使うための体制づくりを」と強調した。

さらに花井氏は、医療用医薬品は医師の処方箋と薬剤師の調剤がなければ買えず、厳しい広告規制で消費者保護を徹底している一方、スイッチOTCなどで一般用医薬品になった瞬間に自己責任の範囲が急拡大すると指摘。「(2006年の)薬事法改正で(一般用医薬品を)リスクごとに分類し、専門家が介在できる仕組みをつくったのに、事実上インターネットで自由に購入できる。消費者責任が無限に拡大していくような状況になるので、OTCの広告はもっと厳しくすべきと考えていたところだった」と述べ、消費者保護とは真逆の方向への規制緩和に違和感を表明した。

### ●「ネット販売容認からおかしい」

日本医師会の中川俊男副会長は「花井委員の意見に大賛成。インターネット販売(を認めたあたり)から流れがおかしい。医薬・生活衛生局も不本意なのではないか。ぜひここで踏んばってほしい」と述べた。

さらに中川副会長は、厚労省が検討しているOTCの広告基準・監視指導の見直しについても言及。「患者の不利益になりかねないような見直しはやめていただきたい」と、再考を求めた。

OTCの広告基準・監視指導の見直しについては、厚労省が同日の部会に、厚生労働科学研究「医薬品等の広告監視の適正化を図るための

研究班」(代表研究者＝白神誠・日本大薬学部教授)が検討中の9項目に関する見直し事項案を提示した。効能・効果で「頭痛・生理痛」など複数を表示している場合、例えば「頭痛」だけに表示を絞ることも可能にするなどの方向性を示した。

中川副会長は「頭痛の人が『頭痛・生理痛』と書いてある薬と『頭痛』と1つだけ書いただけの薬と、どちらを選ぶか。『頭痛』だけの方が効きそうだと、なりそうだが、広い意味で患者に不利益を与えかねない。再考してみたらどうか」と述べた。(平成29年4月4日)

### ■医業経営、金利上昇リスクに警鐘

#### － 日医総研WP －

日医総研はこのほど公表したワーキングペーパー(WP)「マイナス金利政策1年と医療等への影響」の中で、将来的な金利上昇リスクへの注意を促した。「医療界・医業経営にとって、本当に気を付けなければならないのは、目下のマイナス金利ではなくて、将来的に本当に金利が上昇した時だと思われる」と警鐘を鳴らしている。

WPでは、日銀によるマイナス金利政策の影響を分析するとともに、今後の展望を予測。その中で「われわれは、ほぼゼロに近い金利水準に慣れきっていて、それが永遠に続くかのように思い込んでいるところがあるが、むしろ今は異常なのであり、そうではなくなる可能性も十分にある」と強調している。

さらに日銀の政策や、いわゆる「アベノミクス」の成否にかかわらず、金利が上昇するリスクがあり「医業経営に与える財務リスクは小さい可能性がある」と指摘。特に日銀が今後の政策対応や金融市場のコントロールに失敗した場合、経済が大きく混乱すると見通した上で「株価は大きく下落し、市場金利は高騰し、2%以上に跳ね上がるかもしれない」と予想した。

また一般病院の医業利益率が平均1%前後の中で、市場の長期金利が大きく上昇し、それに伴い借入金利が引き上げられれば「かなりの数の医療機関において、医業利益の大半が失われ、経営が苦境に陥る恐れがあるだろう」と分析している。

マイナス金利政策が奏功しなければ、社会保障分野への適正化の圧力が「より一層強まるのは避け難いこと」とも指摘。マクロ的な懸念として「社会保障の2025年問題が、日銀の出口戦略の時期や財政赤字・政府債務問題の限界とオーバーラップすることになりかねない点」も挙げている。(平成29年4月7日)

## ■女性医師支援センター事業を強化

### － 日医 －

日本医師会が女性医師支援センター事業を強化している。同事業の中核となる「女性医師バンク」に専任コーディネーターを配置することで就業実績の増加につなげるなど、一部で成果が上がり始めている。今後も女性医師バンクの認知度の向上、都道府県医師会との連携強化などに力を注ぎ、就業実績の拡大を目指す。

同事業は、厚生労働省の委託事業として2007年から続けている。その中心が女性医師の就業を支援する職業紹介事業「女性医師バンク」だ。求職者(女性医師)と求人施設(医療機関)の情報をそれぞれ登録し、コーディネーターが▽求職者への就業斡旋▽求人施設への人材紹介を行ってきた。求人施設も無料で利用できることが特徴で、▽登録費用▽情報掲載料▽紹介手数料▽成立手数料▽成立後の相談・サポートなど全て無料だ。また求職者は、医師会の会員・非会員を問わず利用できる。

以前は日医会員の女性医師16人がコーディネーターを務めていたが、医師としての仕事をしながらの「兼業」だった。また女性医師バンクの存在自体が十分に浸透しておらず、実際の就業につながった実績は年間平均40件程度にとどまっていた。

このため昨年10月から新体制に改め、民間企業で活躍していた2人を専任コーディネーターとして配置した。さらに16人の旧コーディネーターのうち5人がアドバイザーに就任し、医師資格を持たない専任コーディネーターに医療に関する専門知識などを助言している。専任コーディネーターとアドバイザーは日ごろから連絡

を取れる体制を整えており、定期的に打ち合わせも行っている。

新体制への移行後、半年間の就業実績は56件。移行前の2倍のペースで就業実績が増えた。日医の今村定臣常任理事は「コーディネーターを専任にしたことで、より丁寧に対応することができるようになった。そこが最大の違い」と話す。専任コーディネーターは、求職者からの問い合わせにいつでも対応できるようにしている。

出産・子育て、親の介護などで離職したものの、勤務する日数や時間を限定して復職したいと考える女性医師は少なくない。今村常任理事は「今後、求職者の登録をどのように増やすかが最大の課題となる」と説明する。課題解決のためにも女性医師バンクの認知度アップは不可欠と見ており、4月中に女性医師バンクのホームページを刷新する予定だ。また17年度中に、全国の医療機関へリーフレットを配布する。

都道府県医師会との連携にも力を入れる。求職者や求人施設の情報は、より身近な都道府県医師会に集まりやすいため、先進的な女性医師支援活動を行っている都道府県医を中心に連携を図っていく。先進的な事例は他の地域にも広げていきたい考えだ。(平成29年4月21日)

## ■個人情報の取扱いガイダンスを通知

### － 厚労省など、5月30日から運用 －

個人情報保護委員会と厚生労働省は4月14日付で「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」を都道府県に対して通知(個情第534号、医政発0414第6号ほか)した。同ガイダンスは5月30日の改正個人情報保護法施行に伴い、これまでの「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」に代わって医療現場などで同日から運用される。ガイダンス本文は同委員会のウェブサイト(<https://www.ppc.go.jp/>)からダウンロード可能。

(平成29年4月21日)

日医インターネットニュースは日本医師会ホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズ>日医インターネットニュース

#### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザー ID: 会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)

## 医師国保組合だより

## 第21回歩こう会

宮崎市 <sup>にし</sup>西 <sup>むら</sup>村 <sup>あつ</sup>篤 <sup>のり</sup>乃

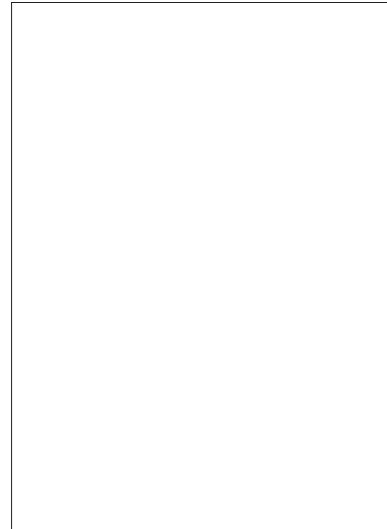
医師国保常務理事の高橋政見先生より、記事を書いてと依頼された。元来書くことは苦手  
で、断りたいのが本心、しかし彼とは秦会長時  
代同じ釜の飯を食った役員なので、いたしかた  
なく引受けた。

この会に参加したのは久しぶりであった。  
ゴルフラウンドをリハビリのため優先してい  
るので、いつもスケジュールが合わず見送っ  
ていた。

3月19日連休の初日、案内では森田ゴルフ宮  
崎店前(児童公園前)のバス停に9時10分集合  
9時20分出発とあった。集合時間3分前に女房  
に送ってもらった時、すでにバスは到着してい  
た。次のバスストップは南宮崎駅、ここで数人  
ピックアップして、日曜日のせいか、あっとい  
う間に目的地ボタニックガーデン青島に到着。  
県医師会館出発が早く、予定の10時より早く着  
いたので、集合写真まで20分、時間をつぶし  
た。大温室に入り、ブーゲンビリアに迎えら  
れた。

冬場写真撮影の材料がない時、よくここに来  
た。当時と比べて、ガラス張りの「トロピカル  
フラワーガーデン」と新装になっていた。2階  
の回廊からは花を間近に見られる。ブーゲンビ  
リアにも多種類あり、ダブルホワイトを特に接  
写した。カメラは2台(望遠とマクロ)持参し  
た。屋内は開園前に吹霧したと思われ、水滴が  
ついており、温度は冬でも15℃に管理されて  
いる。

1階西角にはマーライオンの像があり、これ



パラボラチョの木

はかの有名なシンガポールのボタニックガーデ  
ンとの姉妹植物園50周年を記念して置かれてい  
るそうだ。

そろそろ集合写真の時間となり、外に出ると  
うす曇りで冷とした。現地集合組約20人と合流  
して第1回目の写真撮影。次は11時のロータ  
リー花園で、それまでは各々散策となった。

この公園には数回来たことがあるが、今回目  
にとまった木がある。遠目にはあけびがぶらさ  
がっているかと思える実と幹がだるま状になっ  
ている。パラボラチョ：酔っ払いの樹と命名さ  
れた。酔っぱらった人の膨らんだお腹のように  
見られるのが特徴。和名：トックリキワタ。

第2回の集合写真後、青島グランドホテルに  
移動。ロコモ予防体操を宮大附属病院リハビリ  
テーション部 宮崎技師長指導の下1時間行わ

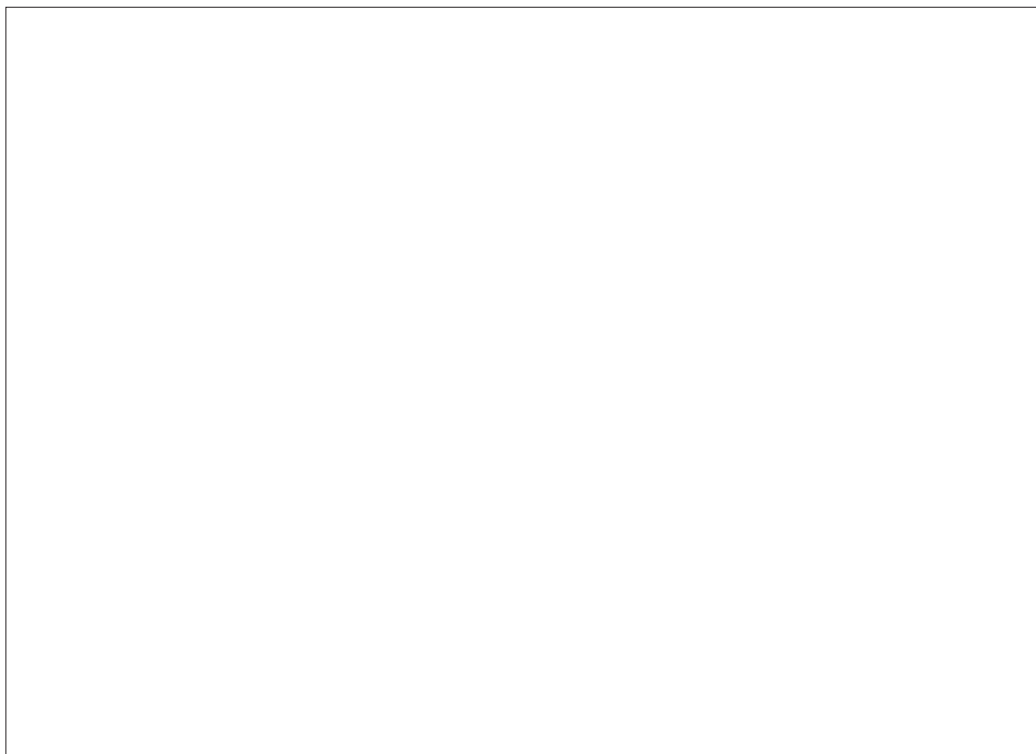
れた。自分なりに、ゴルフのためにストレッチ運動を毎日しているが、こんなに十分やったのは初めてである。

体操終了後部屋をかえて昼食となった。大坪副理事長が挨拶した。秦理事長は腰痛のため医師会館でバスを見送ったが、欠席となった。弁当は立派で量も多く完食できず、昼食後は出発まで時間があるので、フロントでタオルを借り地下の温泉に行った。肌につるつるした感触で、神経痛にも良いとのことでゆっくり入浴を

楽しんだ。湯上りは汗が出て困った。ロビーでジャイアンツのキャンプ風景の写真を年代毎に見て廻った。

14時バスは帰路につき、太陽も顔を出し車内は暑く、エアコンも入って心地良く睡魔が襲った。

翌日の宮崎C.Cのクラブ競技は、ロコモ体操のお陰か、入賞し、12月のグランドマンスリーの資格を得た。感謝。感謝。



**医師国保組合だより****平成28年度宮崎県医師国民健康保険組合第116回通常組合会**

と き 平成29年 3 月17日(金)

ところ 県医師会館

去る 3 月17日に第116回通常組合会が開催され、平成29年度事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、給付費支払準備金積立金の処分、法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)についての 4 議案が上程され、全て可決承認された。

**1 報 告**

会務については、平成28年 4 月から組合会までの関係団体諸会議、当組合理事会および委員会に関する事項を報告。業務については、被保険者・保険料に関する事項、療養の給付状況、保健事業の実績および補助内容を報告。平成28年度歳入歳出決算見込みについては、繰越金を除く単年度収支として約5,400万円の赤字決算の見通しと報告した。

**2 議案第 1 号 平成29年度事業計画(案)について**

基本的に前年度を踏襲しており、重点事業としては、健康寿命の延伸と医療費適正化を目的としたデータヘルス計画を全保険者が策定したうえで取り組んでいることから、当組合においても保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進、重症化予防等に取り組む。また、特定健診・特定保健指導、ロコモ啓発推進事業の実施、平成29年 7 月から地方公共団体との情報連携が開始されることから、番号法に基づき、当組合は保険者として全被保険者のマイナンバーの取得および

取扱いを諸規程を定めたうえでマイナンバー運用システムを活用し実施することなどを説明し、原案どおり可決承認された。

**3 議案第 2 号 平成29年度歳入歳出予算(案)について**

歳入については、保険料が3億3,496万4千円で、歳入合計の約60%を占めている。国庫支出金は、医師国保組合に対する定率国庫補助率が平成32年度まで段階的に32%から13%まで削減されるため、補助率は前年度を3.8%マイナスした24.4%での算出になり、8,599万4千円で15%、繰越金は9,800万円で17%を占めている。また、繰入金は平成29年度定率国庫補助率削減による補助金の減収見込額を2,300万円と試算し、給付費支払準備金積立金から繰り入れする。歳出については、繰り入れ保険給付費が2億6,165万2千円で歳出合計の47%、後期高齢者支援金等が16%、介護納付金が9%を占めている。予備費は、平成27年度療養給付費等補助金の超過交付分に係る返還分支出、高額薬剤の保険適用等による高額レセプト請求による療養費支払い等のため4,676万5千円を計上した。歳入・歳出とも合計5億6,139万円の予算(前年度予算比約3.7%減)について説明し、原案どおり可決承認された。

**4 議案第 3 号 給付費支払準備金積立金の処分について**

定率国庫補助率削減措置に伴い、給付費等

支払準備金の法定積立超過額分の一部を処分し、一般会計への繰り入れを行い、その削減される減収額分の財源に充てることが可決承認された。処分金額は2,300万円で、処分後の保有額は、3億4,255万4,342円であった。

※出席組合会議員及び出席役員は下記のとおり。

**出席組合会議員 20名(議員定数 30名)**

1 番 市 来 能 成  
2 番 内 田 攻  
3 番 神 尊 敏 彦  
4 番 田 崎 高 伸  
6 番 谷 口 二 郎  
7 番 玉 置 昇  
8 番 原 田 雄 一  
9 番 弘 野 修 一  
10 番 福 永 隆 幸  
12 番 武 田 信 豊

13 番 出 水 善 文  
15 番 大 岐 照 彦  
16 番 鵜 木 俊 秀  
17 番 井 手 稔  
21 番 大久保 史 明  
22 番 水 野 智 秀  
23 番 坂 田 師 隣  
25 番 岡 村 武 志  
26 番 立 山 洋 司  
28 番 堀 英 昭

**5 議案第 4 号 平成29年度宮崎県医師国民健康保険組合法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画について**

平成29年度法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画を説明し、原案どおり可決承認された。

**出席理事 10名**

理 事 長 秦 喜八郎  
副理事長 大 坪 睦 郎  
副理事長 濱 田 政 雄  
常務理事 高 橋 政 見  
常務理事 佐々木 究  
理 事 高 村 一 志  
理 事 川 野 啓一郎  
理 事 佐 藤 信 博  
理 事 糸 数 智 美  
理 事 花 田 武 浩

**出席監事 2名**

監 事 棚 田 敏 文  
監 事 山 路 健

**被保険者の資格喪失届について**

世帯内のご家族が就職等で協会けんぽ等の他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。14日以内に被保険証を添えて届け出てください。

～各種申請用紙は当組合ホームページからダウンロードできます～

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

※問い合わせ先 宮崎県医師国民健康保険組合

宮崎市和知川原1丁目101

TEL0985-22-6588 FAX0985-27-6550

## 平成29年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

### ( 歳 入 )

| 款           | 項               | 金額(円)       | 構 成 比      |
|-------------|-----------------|-------------|------------|
| 1. 国民健康保険料  | 1. 国民健康保険料      | 334,964,000 | 59.67%     |
| 2. 一部負担金    | 1. 一部負担金        | 1,000       | 0.00%      |
|             |                 | 85,994,000  | 15.32%     |
| 3. 国庫支出金    | 1. 国庫負担金        | 1,601,000   | ( 1.86% )  |
|             | 2. 国庫補助金        | 84,393,000  | ( 98.14% ) |
| 4. 前期高齢者交付金 | 1. 前期高齢者交付金     | 2,000       | 0.00%      |
| 5. 県支出金     | 1. 県補助金         | 2,000       | 0.00%      |
| 6. 共同事業交付金  | 1. 共同事業交付金      | 19,000,000  | 3.38%      |
| 7. 財産収入     | 1. 財産運用収入       | 300,000     | 0.05%      |
| 8. 繰入金      | 1. 繰入金          | 23,004,000  | 4.10%      |
| 9. 繰越金      | 1. 繰越金          | 98,000,000  | 17.46%     |
|             |                 | 123,000     | 0.02%      |
| 10. 諸収入     | 1. 加算金・延滞金及び過怠金 | 1,000       | ( 0.81% )  |
|             | 2. 預金利子         | 80,000      | ( 65.04% ) |
|             | 3. 雑収入          | 42,000      | ( 34.15% ) |
| 歳 入         | 合 計             | 561,390,000 | 100.00%    |

### ( 歳 出 )

| 款            | 項             | 金額(円)       | 構 成 比      |
|--------------|---------------|-------------|------------|
| 1. 組合会費      | 1. 組合会費       | 6,670,000   | 1.19%      |
| 2. 総務費       | 1. 総務管理費      | 45,161,000  | 8.04%      |
|              |               | 261,652,000 | 46.61%     |
| 3. 保険給付費     | 1. 療養諸費       | 231,900,000 | ( 88.63% ) |
|              | 2. 高額療養費      | 25,001,000  | ( 9.56% )  |
|              | 3. 移送費        | 1,000       | ( 0.00% )  |
|              | 4. 出産育児諸費     | 840,000     | ( 0.32% )  |
|              | 5. 葬祭諸費       | 1,200,000   | ( 0.46% )  |
|              | 6. 傷病諸費       | 2,710,000   | ( 1.04% )  |
| 4. 後期高齢者支援金等 | 1. 後期高齢者支援金等  | 87,907,000  | 15.66%     |
| 5. 前期高齢者納付金  | 1. 前期高齢者納付金   | 18,206,000  | 3.24%      |
| 6. 老人保健拠出金   | 1. 老人保健拠出金    | 3,000       | 0.00%      |
| 7. 介護納付金     | 1. 介護納付金      | 49,200,000  | 8.76%      |
|              |               | 20,328,000  | 3.62%      |
| 8. 共同事業拠出金等  | 1. 共同事業拠出金    | 19,308,000  | ( 94.98% ) |
|              | 2. 共同事業負担金    | 1,020,000   | ( 5.02% )  |
|              |               | 25,490,000  | 4.54%      |
| 9. 保健事業費     | 1. 特定健康診査等事業費 | 2,890,000   | ( 11.34% ) |
|              | 2. 保健事業費      | 22,600,000  | ( 88.66% ) |
| 10. 積立金      | 1. 積立金        | 5,000       | 0.00%      |
| 11. 組合債費     | 1. 組合債費       | 1,000       | 0.00%      |
| 12. 諸支出金     | 1. 償還金及び還付加算金 | 2,000       | 0.00%      |
| 13. 予備費      | 1. 予備費        | 46,765,000  | 8.33%      |
| 歳 出          | 合 計           | 561,390,000 | 100.00%    |

## ご 案 内

第74回総会を開催し、各種表彰を行いますので、是非ご出席ください。

## 平成29年度第74回宮崎県医師会総会

と き 平成29年 6 月17日(土)17:30～

ところ 宮崎県医師会館 2階研修室

## 次 第

1 開 会

2 物故会員に対する弔意黙祷

3 県医師会長挨拶

4 来賓祝辞及び来賓紹介(祝電披露)

5 各種表彰祝賀

6 閉 会

※クールビズでの開催となります。

## 4 月のベストセラー(宮崎県)

集計：2017年 4 月 1 日～4 月25日

|    |                      |           |             |
|----|----------------------|-----------|-------------|
| 1  | 九十歳。何がめでたい           | 佐 藤 愛 子   | 小 学 館       |
| 2  | 蜜蜂と遠雷                | 恩 田 陸     | 幻 冬 舎       |
| 3  | どんな時でも人は笑顔になれる       | 渡 辺 和 子   | P H P 研 究 所 |
| 4  | リバース                 | 湊 かなえ     | 講 談 社       |
| 5  | 素敵な日本人               | 東 野 圭 吾   | 光 文 社       |
| 6  | いのちの車窓から             | 星 野 源     | KADOKAWA    |
| 7  | 儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇   | ケント・ギルバート | 講 談 社       |
| 8  | こころの匙加減              | 高 橋 幸 枝   | 飛 鳥 新 社     |
| 9  | か「 」く「 」し「 」ご「 」と「 」 | 住 野 よ る   | 新 潮 社       |
| 10 | うつヌケ                 | 田 中 圭 一   | KADOKAWA    |

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985)56-0868

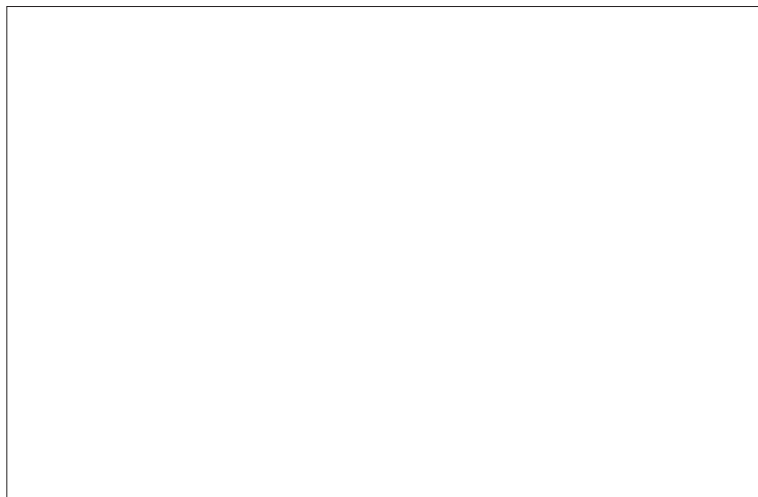
**お知らせ**

## 第18回 宮崎県医師会 医家芸術展 作品募集！

「会員先生方の優秀な作品を一堂に展示し、作品を通じて県民との交流を図ると共に、創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に、平成12年より始めました宮崎県医師会医家芸術展を、本年も県立美術館にて開催いたします。

前回は、49名の方々から140点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い、とても素晴らしい芸術展となりました。また、入場者も1,169人を数え、年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

下記の要領にて作品を募集いたしますので、会員先生及びご家族の皆様からのご出展を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

**【応募要領】**

- 1 展示期間：平成29年 8 月 9 日(水)から13日(日)
- 2 場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1・2
- 3 応募作品：写真、書道、絵画
- 4 応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)
- 5 応募方法：出展希望の方は、県医師会ホームページから応募用紙をダウンロードしていただくか、もしくは応募用紙を送付しますので下記までご連絡ください。出展者名、出展部門、作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。  
※作品の搬入出につきましては、各自の責任のもとでお願いします。
- 6 応募締切：平成29年 6 月10日(土)
- 7 応 募 先：宮崎県医師会医家芸術展事務局  
TEL 0985-22-5118・FAX 0985-27-6550

## 「はまゆう随筆」原稿募集

7, 8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」を募集いたしますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評です。

**題 材** 診療閑話, 私の趣味, 旅行記, スポーツ談議, 詩, 詩歌, 俳句など何でも結構です。なお, 本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

**字 数** 800字以内 (字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください)

**締 切** 平成29年 6 月30日(金)

- ◎ 原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル, 氏名を先頭に付記してください。
- ◎ 掲載については, 広報委員会にご一任下さいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり 1 編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として, 原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 原稿の内容については, 人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。
- ◎ 日州医事は, 会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配付しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し, 日州医事原稿専用アドレス (genko@miyazaki.med.or.jp) 宛にお送りください。もちろん, それ以外の方法 (FAX, 郵便等) でお送りいただいても構いません。

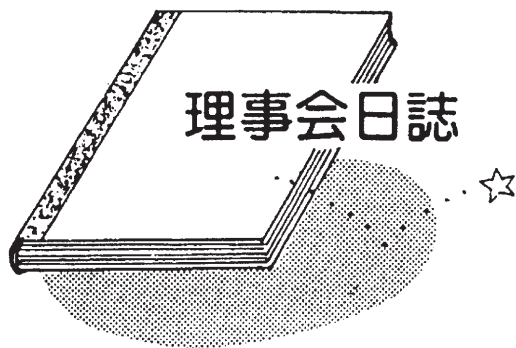
原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118



平成29年 3 月 7 日(火)第33回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①宮崎県感染症発生動向調査委員会委員の推薦について

→感染症対策の評価をもって本県における疾病予防及び感染症蔓延防止に資することを目的に設置される委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き県小児科医会、県産婦人科医会、県眼科医会に人選をお願いすることが承認された。

- ②宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の就任期間延長について

→現在、糸数理事が委員を務める委員会で、医学部長の任期変更に伴う委嘱期間の延長依頼があり、平成29年4月1日から30年9月30日の1年半延長を認めることが承認された。

- ③暴力被害者等に対する医学的な指導のための医師の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、再任の意向が確認できたことから、引き続き佐藤志保先生を推薦することが承認された。

- ④傷病手当金等審査医師の推薦について

→傷病手当金の支給について、主に整形

外科及び精神科に関する医学的な助言等を行う医師の推薦依頼があり、県整形外科医会及び県精神科医会に人選を依頼することが承認された。

#### 2. 平成29年度(第39回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議の開催並びに提出議題について

河野会長の出席が承認された。また、提出議題がある役員は事務局に申し出ることとし、その取扱いについては河野会長に一任することとなった。

### (報告事項)

#### 1. 週間報告について

#### 2. 2月末日現在の会員数について

#### 3. 3/1(水)(東京)社会保障審議会医療保険部会療養費検討専門委員会について

#### 4. 2/24(金)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

#### 5. 3/2(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者の個別指導及び新規個別指導について

#### 6. 3/4(土)・5(日)(県医)ICLS指導者養成ワークショップ及びACLS研修会について

#### 7. 3/6(月)(宮大医学部附属病院)県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会について

#### 8. 3/1(水)(日医)日医救急災害医療対策委員会について

#### 9. 3/6(月)(宮観ホテル)県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会について

平成29年 3 月 14 日(火)第13回全理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

#### 1. 宮崎県医師会母体保護法に関する規程の改定について

新規申請時の研修症例報告等を厳格化するため、「宮崎県医師会母体保護法指定医

師審査基準」と「宮崎県医師会母体保護法に関する規程並びに指定医師審査基準細則」を、平成29年4月1日付で一部改正施行することが承認された。

## 2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会委員の推薦について

→県民が安心してジェネリック医薬品を使用できる環境整備等を目的に開催する協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

## 3. 平成29年度宮崎県医師会創立記念医学会と県民健康セミナーの一体的開催について

来年度の創立記念医学会の日程は、平成30年2月25日、日曜日であることから、医神祭を除き、県民健康セミナーと一体的に開催、企画することが承認された。なお、特別講演の選定等に関しては、健康教育委員会及び健康スポーツ医学委員会等で総合的に検討することとなった。

## 4. 審査委員の推薦について

任期満了に伴う推薦依頼で、県医社保・国保審査委員会委員の選任基準(内規)に従い、本会から川野理事と嶋本理事の2名を推薦すること及び、今後、郡市医師会に続いて各専門分科医会に推薦依頼を行うことが承認された。なお、任期は平成29年6月1日から2年間。

## 5. 宮崎県医師会医学会誌投稿規程の改定について

会員の要望に対応するため、英語論文の対応、利益相反(COI)開示、個人情報保護に関する項目を加えた「宮崎県医師会医学会誌投稿規程」を、平成29年3月14日付で一部改正施行することが承認された。

## (報告事項)

### 1. 週間報告について

### 2. 3/14(火)(宮大医学部)宮大医学部附属病院医師研修管理委員会について

### 3. 3/11(土)(KITEN)地域医療構想自院データ分析講習会について

### 4. 3/13(月)(県庁)県周産期医療協議会について

### 5. 3/10(金)(県庁)県准看護師試験委員会について

### 6. 3/12(日)(日医)都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会・学術大会について

### 7. 3/10(金)(日医)日医公衆衛生委員会について

### 8. 3/9(木)(県医)治験審査委員会について

### 9. 3/11(土)(ポチロン)2020.30実現をめざす地区懇談会について

### 10. 3/13(月)(県医)広報委員会について

### 11. 3/12(日)(県医)医師クラーク育成・スキルアップ研修会について

### 12. 3/1(水)(日医)都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会について

### 13. 3/5(日)(福岡)レジナビフェア福岡について

### 14. 3/7(火)(福岡)九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会実行委員会について

### 15. 3/10(金)(県国保連合会)糖尿病性腎症重症化予防プログラム策定に向けたデータ分析事業について

### 16. 3/11(土)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・全体研修会について

### 17. 3/11(土)・12(日)(県総合福祉センター)宮崎JRAT研修会について

### 18. 3/11(土)(県企業局)臨床検査精度管理調査勉強会について

19. 3 / 9 (木)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について
20. 1 / 12 (木)(県医)・2 / 10 (金)(日向保健所)・3 / 2 (木)(小林保健所)ロコモティブシンドローム予防講演会について
21. 3 / 1 (水)(県医)医学会誌編集委員会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 俊翔会(羽生田たかし参議院議員)への支援について

羽生田参議院議員を支援するため、俊翔会(羽生田参議議員の政治資金管理団体)の入会を求めるもので、県医師連盟会員に対し文書で案内することが承認された。

平成29年 3 月21日(火)第34回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

・ケアマネナビゲーター相談・助言事業に係る選考委員会の委員推薦について  
→介護保険施設等の巡回相談や助言等を行うケアマネナビゲーターを選考することを目的に設置された委員会で、事業継続に伴う推薦依頼があり、引き続き金丸常任理事を推薦することが承認された。

2. 4 / 8 (土)(コンベンションセンター)新研修医保険診療等説明会について

新研修医祝賀会の前に県医師会が実施する説明会について、時間配分及び説明項目、説明者の確認が行われた。また、次回開催に向けて説明会の名称についても検討していくことが承認された。

3. 宮崎県災害医療コーディネーターの委嘱について

任期満了に伴う新たな第三期コーディネーター(任期：平成29年 4 月 1 日～31年 3 月31日)の確認依頼があり、県医師会から佐々木(幸)常任理事を追加すると共に各郡市医師会から出されているコーディネーターの意向を確認した上で推薦することが承認された。

#### 4. 業務委託について

- ①平成29年度広域予防接種業務委託契約書の締結について

→対象者が圏域を越えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、ワクチン代と初診料の変更を踏まえた県内統一料金及び事務手数料予診票 1 件あたり200円で契約を締結することが承認された。

- ②平成29年度高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種に係る広域契約について

→対象高齢者が圏域を越えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、ワクチン代と初診料の変更を踏まえた県内統一接種料金7,652円(ただし市町村で異なる自己負担額あり)及び事務手数料予診票 1 件あたり200円で契約を締結することが承認された。

#### 5. 平成29年度県立学校健康管理医報酬額について

教職員の健康管理に対する報酬で、1 校あたりの職員数に応じて区分されており、昨年と同額とすることが承認された。

##### (報告事項)

1. 3 / 16 (木)(県庁)県健康づくり推進協議会について
2. 3 / 15 (水)(県企業局)県要保護児童対策地域協議会代表者会議について
3. 3 / 18 (土)(県医)母体保護法指定医師研修会について

4. 3/17(金)(県庁)県防災会議について
5. 3/17(金)(県医)都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会について
6. 3/21(火)(県医)治験理事会について
7. 3/18(土)(シーガイア)病院部会・医療法人部会医療従事者研修会について
8. 3/16(木)(県医)道交法改正による認知症対応に関する研修会について
9. 3/21(火)(県庁)県地域医療支援機構代表者会議について
10. 3/19(日)(日医)日医学校保健講習会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 3/28(火)(県医)県医師連盟常任執行委員会の開催について

平成29年度の事業計画及び予算を協議するための常任執行委員会で、来週の県医師会常任理事協議会の開始時刻を変更し開催することが承認された。

また、開催案内を通知する際、概略の説明を行った事業計画(案)及び予算(案)についても事前に送付することとなった。

2. 4/22(土)(宮崎市民プラザ)平成29年度清山会総会の開催について(清山会会長より)

清山知憲県議会議員の政治資金管理団体である「清山会」が、今年度の収支報告及び来年度の活動方針等を審議すべく開催する総会で、参加を希望する役員は事務局まで申し出ることが承認された。

#### 3. その他

##### (報告事項)

1. 平成29年度県医師連盟事業計画及び収支予算について

#### 平成29年 3 月28日(火)第35回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①教職員疾病審査委員会委員の推薦について

→教職員の採用、休職時等の疾病を審査するために設置される委員会で、現委員1名の辞任申し出があったことから、推薦母体の県精神科医会に人選を依頼することが承認された。

2. 5/16(火)(日医)平成29年度第1回都道府県医師会長協議会の開催について

日本医師連盟常任執行委員会及び執行委員会と同日開催される医師会長協議会で、河野会長及び事務局長の出席が承認された。

3. 会費減免申請について

県医師会と日医の高齢会費減免2名と疾病会費減免2名、日医のみの高齢会費減免1名、県医師会のみの高齢会費減免1名がそれぞれ承認された。

4. 資産の運用について

3月30日で満期を迎える資金について、宮崎銀行及び大和ネクスト銀行の定期預金並びに国債を購入することが承認された。

5. 4・5月の行事予定について

4月の追加行事について確認が行われた。

##### (報告事項)

1. 週間報告について

2. 3/15(水)(日医)日医学術推進会議について

3. 3/16(木)(県医)県アイバンク協会理事会について

4. 3/21(火)(東京)社会保障審議会医療保険部会療養費検討専門委員会について

5. 3/25(土)(東京)九医連常任委員会について
6. 3/25(土)(東京)全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員会・運営委員会について
7. 3/28(火)(県庁)県医療審議会医療法人等部会について
8. 3/22(水)(県庁)県個人情報保護審議会について
9. 3/22(水)(県庁)県移植推進財団理事会について
10. 3/28(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
11. 3/26(日)(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議について
12. 3/26(日)(日医)日医臨時代議員会について
13. 3/22(水)(宮大医学部)地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について
14. 3/24(金)(県医)広報委員会について
15. その他
  - ①平成29年2月の職員退職及び4月の職員配置について

- ②3/27(月)県成人病検診管理指導協議会肺がん部会について

#### 医師連盟関係

##### (議決事項)

1. 5/16(火)日本医師連盟常任執行委員会の開催について

日本医師連盟の交付金等を協議するためにかれる会で、河野委員長が出席することが承認された。

2. 5/16(火)日本医師連盟執行委員会の開催について

都道府県医師会長協議会に引き続き開催される会で、河野委員長が出席することが承認された。また同日開催される参議院議員「羽生田たかし君と明日の医療を語る会」の参加については、河野委員長に一任することが承認された。

3. その他

##### (報告事項)

1. 3/18(土)(JA-AZM)自民党県連総務・支部長合同会議について

## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成29年5月1日より平成29年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 県 医 の 動 き

(4 月)

|    |                                                                               |    |                                                                                      |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 3  | 辞令交付式(会長)<br>県産婦人科医会会計監査(濱田副会長他)                                              | 18 | 医協打合せ会(立元副理事長)<br>第3回常任理事協議会(会長他)                                                    |
| 4  | 治験審査委員会(富田副会長他)<br>第1回常任理事協議会(会長他)                                            | 19 | 九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の<br>指導計画等打合せ(会長他)                                                 |
| 6  | 県産婦人科医会全理事会(濱田副会長他)                                                           | 20 | 宮大医学部医の倫理委員会(糸数理事)<br>県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事)<br>県産婦人科医会ワンストップ支援センター<br>に関する打合せ(濱田副会長他) |
| 7  | フィオーレKOGA看護専門学校入学式<br>(会長)<br>(日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事)                            | 21 | 広報委員会(荒木常任理事他)<br>県外科医会全理事会                                                          |
| 8  | 宮崎県臨床研修医説明会・講演会/新研修医<br>祝賀会(会長他)<br>(熊本)九州各県医師会医療情報システム担<br>当理事連絡協議会(吉田常任理事他) | 22 | 県産婦人科医会春期総会(濱田副会長他)                                                                  |
| 9  | 水月会宮崎セミナー(河野委員長)                                                              | 23 | 県小児科医会総会・春季学術講演会<br>(高村常任理事他)                                                        |
| 10 | 県産婦人科医会医療保険委員会<br>(濱田副会長他)                                                    | 24 | 県臨床研修・専門研修運営協議会(会長他)                                                                 |
| 11 | 第2回常任理事協議会(会長他)                                                               | 25 | 医協理事会(富田理事長他)<br>第1回全理事協議会(会長他)<br>医協理事・運営委員合同協議会(会長他)                               |
| 12 | 支払基金幹事会(会長)                                                                   | 26 | 労災診療指導委員会(川野理事他)<br>労災部会会計監査<br>病院部会・医療法人部会合同理事会<br>(池井常任理事他)                        |
| 13 | 医師国保組合理事会(秦理事長他)<br>県糖尿病対策推進会議小幹事会<br>(金丸常任理事)                                | 27 | (東京)地域医療介護総合確保基金(医療分)<br>ヒアリング(富田副会長)<br>産業医部会理事会(会長他)<br>県内科医会会計監査(小牧常任理事)          |
| 14 | 広報委員会(富田副会長他)                                                                 | 28 | (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策<br>委員会(峰松理事)<br>宮大医学部第三内科開講40周年記念懇親会<br>(会長)                    |
| 15 | 保育支援事業スキルアップ研修会(養成講<br>座)(荒木常任理事他)                                            |    |                                                                                      |
| 17 | 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会<br>(金丸常任理事)                                               |    |                                                                                      |

## 追 悼 の こ と ば

日向市東臼杵郡医師会

まつ おか ひろし  
松 岡 弘 先生

(昭和 2 年 3 月 2 日 生 90 歳)

### 弔 辞

本日ここに、故 松岡弘先生のご葬儀が執り行われるにあたり、日向市東臼杵郡医師会を代表いたしまして、謹んで御霊前にお別れの言葉を申し上げます。

昨日、先生の突然の御訃報に接し、会員一同深い悲しみに包まれております。

先生は 3 月 20 日午前 1 時 8 分 90 歳の生涯を閉じられました。

先生のご冥福をお祈りいたしますとともに、ご遺族の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。

先生は昭和 26 年 3 月、九州大学医学部をご卒業後、九州大学医学部第一内科研究員として勤務され、その後熊本鉄道病院、日本セメント八代工場診療所、山鹿市立病院、済生会日向病院に内科の医師として勤務されました。

とりわけ、設立されて間もない日向病院の院長時代は経営・医療業務に精力的に取り組まれ、日向入郷地域の公衆衛生の充実に尽力されたことは周知のとおりです。

その後、昭和 44 年 9 月日向市原町に内科医院を開業され、地域の人々から絶大な信頼を得ておられました。

先生は、自分に厳しく研究熱心で、医師会の研修会には欠かさず出会されていました。わからないことは納得のいくまで追求され、思ったことははっきり是非を述べるなど、責任感があり実行力のある先生でした。

医師会活動では、多忙な中、医師会副会長を 6 年、理事を 16 年、看護学校長を 6 年され医師

会活動にも大きく貢献されました。

また、小学校・県立学校の校医を 40 年近く勤められ、責任の重い心臓検診委員会、腎臓検診委員会のそれぞれの委員長を務めるなど、長年にわたって児童生徒の健康管理・健康増進に尽力されてられました。

さらには、昭和 49 年 7 月に当医師会内科医会を結成され初代会長に就任。14 年間という長きにわたり会長として地域医療推進に努め、会員の研修はもちろん、地域の公衆衛生の啓発・感染症予防に尽力されました。

こうした先生の取組みと功績に対して、日向市から 3 回の功労賞を、平成 9 年には学校保健及び学校安全功労として宮崎県教育長表彰を、平成 14 年には医療功労として宮崎県知事賞を、平成 18 年には厚生労働大臣表彰を、平成 23 年には学校保健及び学校安全に関する功労として文部科学大臣表彰を受賞されています。

先生がこうして地域医療一筋に生き、捧げてこられた御生涯は誠に素晴らしいものがございました。

私ども会員一同は、先生のご遺志を継いで地域医療の充実に取り組んで参ります。

松岡内科医院は、ご子息の文章先生、敬子先生が立派に引き継いでおられますので、今後さらに発展し続けるものと確信しています。

松岡弘先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここに謹んで先生の御霊前に哀悼の意を捧げ、地域医療に対する永年のご功績に心から感謝と敬意を表し、在りし日の先生の面影を偲びつつご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

松岡弘先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成 29 年 3 月 21 日

日向市東臼杵郡医師会

会長 渡 邊 康 久

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成29年 4 月13日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報がよせられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 3人

#### 1) 男性医師求職登録数 3人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
| 内 科    | 1     | 0   | 1     |
| 老 健    | 2     | 1   | 1     |

#### 2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

| 希望診療科目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|--------|-------|-----|-------|
|        | 0     | 0   | 0     |

### 2. 斡旋成立件数 58人 (人)

|             | 男性医師 | 女性医師 | 合 計 |
|-------------|------|------|-----|
| 平 成 29 年 度  | 2    | 1    | 3   |
| 平成 16年度から累計 | 42   | 16   | 58  |

### 3. 求人登録 95件 334人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常 勤 | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 117 | 88  | 29  |
| 外 科        | 31  | 26  | 5   |
| 整 形 外 科    | 25  | 22  | 3   |
| 精 神 科      | 18  | 16  | 2   |
| 循 環 器 科    | 5   | 4   | 1   |
| 脳 神 経 外 科  | 12  | 9   | 3   |
| 消 化 器 内 科  | 12  | 9   | 3   |
| 麻 酔 科      | 10  | 8   | 2   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放 射 線 科    | 10  | 9   | 1   |
| 小 児 科      | 1   | 0   | 1   |
| 呼 吸 器 内 科  | 11  | 10  | 1   |
| リハビリテーション科 | 5   | 4   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神 経 内 科    | 7   | 6   | 1   |
| 救 命 救 急 科  | 7   | 7   | 0   |
| 健 診        | 3   | 1   | 2   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 1   | 0   |
| 泌 尿 器 科    | 1   | 0   | 1   |
| 検 診        | 4   | 2   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人 工 透 析    | 4   | 4   | 0   |
| 在 宅 担 当 医  | 1   | 1   | 0   |
| そ の 他      | 33  | 28  | 5   |
| 合 計        | 334 | 268 | 66  |

## 求 人 登 録 者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                      | 所在地   | 募集診療科                               | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|----------------------------|-------|-------------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字センター                    | 宮 崎 市 | 検診                                  | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | (医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮 崎 市 | 脳外, 整, 放, 麻, 内                      | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | (医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮 崎 市 | 乳外, 放, 内, 麻                         | 3   | 常勤     |
| 160020 | (財)弘潤会 野崎病院                | 宮 崎 市 | 精, 内                                | 2   | 常勤     |
| 160031 | (社医)同心会 古賀総合病院             | 宮 崎 市 | 呼内, 神内, 眼, 総診, 呼外,<br>臨病, 乳外, 整外, 麻 | 11  | 常勤     |
| 160033 | (医)如月会 若草病院                | 宮 崎 市 | 精                                   | 2   | 常勤     |
| 170046 | (医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮 崎 市 | 消内, 内分泌内, 呼内, リウ,<br>神内, 健診         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | (医)慶明会 けいめい記念病院            | 国 富 町 | 内, 放, 在宅                            | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院                | 宮 崎 市 | 内, 神内, 整, 消内                        | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                  | 宮 崎 市 | 内(緩和), 消内, 呼内, 総診                   | 8   | 常勤     |
| 190094 | (医)耕和会 迫田病院                | 宮 崎 市 | 総内, 内視鏡                             | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | (医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮 崎 市 | 眼                                   | 1   | 常勤     |
| 200104 | (医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮 崎 市 | 内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整,<br>麻           | 7   | 常勤     |
| 200105 | (医)誠友会 南部病院                | 宮 崎 市 | 内, 外, 放                             | 3   | 常勤     |
| 210110 | (医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮 崎 市 | 整                                   | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                       | 宮 崎 市 | 内, 整, リハ                            | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | (医)真愛会 高宮病院                | 宮 崎 市 | 内, 精                                | 2   | 常勤     |
| 230132 | (医)康友会 青島クリニック             | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230134 | (医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮 崎 市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき         | 国 富 町 | 内, 外                                | 2   | 常勤     |
| 230143 | (医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮 崎 市 | 脳外, 内                               | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                     | 宮 崎 市 | 総内, 呼内, 消内, 健診                      | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | (財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮 崎 市 | 内, 神内, 外, 整, 脳外, リハ,<br>麻, 救急, 緩和   | 10  | 常勤     |
| 230148 | (医)コムロ美容外科                 | 宮 崎 市 | 美外, 形成外, 外, 麻                       | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | (医)健心会 滝口内科医院              | 宮 崎 市 | 内                                   | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                     | 宮 崎 市 | 公衆衛生                                | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                 | 宮 崎 市 | 健診                                  | 1   | 非常勤    |
| 230171 | (医)いなほ会 日高医院               | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会             | 宮 崎 市 | 内, 小, 整                             | 1   | 常勤     |
| 230177 | (医)社団尚成会 近間病院              | 宮 崎 市 | 内, 消内, 消外, 放(いずれか)                  | 1   | 常勤・非常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑              | 宮 崎 市 | 内                                   | 1   | 常勤     |
| 230180 | (一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院     | 宮 崎 市 | 内, 糖内, 呼内, 血内                       | 4   | 常勤     |
| 160008 | (医)正立会 黒松病院                | 都 城 市 | 泌                                   | 1   | 非常勤    |
| 160010 | (特医)敬和会 戸嶋病院               | 都 城 市 | 内, 消内, 整, 神内                        | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | (医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都 城 市 | 内, 救急, 放, 脳外, 外, 眼,<br>透内, 皮        | 8   | 常勤     |
| 170057 | (医)清陵会 隅病院                 | 都 城 市 | 内, 外, 整                             | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター             | 都 城 市 | 内, 呼内, 総診                           | 4   | 常勤     |
| 180081 | (医)恵心会 永田病院                | 都 城 市 | 精                                   | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                  | 都 城 市 | 内, 呼内                               | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                       | 都 城 市 | 精, 内                                | 3   | 常勤     |
| 230127 | (医)倫生会 三州病院                | 都 城 市 | 外, 内, 整                             | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑              | 都 城 市 | 不問                                  | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施 設 名                  | 所在地   | 募集診療科                            | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|------------------------|-------|----------------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医) 宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医) 魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内, リハ                            | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター           | 都 城 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医) 一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                 | 都 城 市 | 内, 透, 循内, 救急, 放, 病理,<br>呼内, 精    | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医) 静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                                | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230179 | 医) 与州会 柳田クリニック         | 都 城 市 | 外                                | 1   | 非常勤    |
| 230181 | 介護老人保健施設 はまゆう          | 三 股 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230183 | 医) 恵心会 坂元医院            | 都 城 市 | 消内, 老人内                          | 2   | 非常勤    |
| 160012 | 医) 伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外, 整, 放, 内                       | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医) 建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                                | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医) 健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外, 内, 緩和                         | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                   | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医) 育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦, 内                            | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院               | 延 岡 市 | 消内, 消外, 内                        | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター            | 延 岡 市 | 内, 小                             | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ        | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医) 中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック            | 延 岡 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医) 誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外, 内, 整, 神内                      | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院            | 門 川 町 | 内                                | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院          | 美 郷 町 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所         | 美 郷 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院               | 日 向 市 | 内, 整                             | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院                | 都 農 町 | 内, 放, 外                          | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医) 宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 内, 腎内, 麻, 総診, 外, 整,<br>脳外, 眼, 検診 | 13  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園          | 高 鍋 町 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医) 隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医) 慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内, 外, 整                          | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医) 同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 160022 | 医) 愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医) 十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精, 内(いずれか)                       | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院               | 日 南 市 | 内, 外, 整, リハ, 在宅                  | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                 | 串 間 市 | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                 | 日 南 市 | 不問                               | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里           | 日 南 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医) 秀英会 英医院             | 串 間 市 | 内                                | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医) 月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                                | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230182 | 串間市市木診療所               | 串 間 市 | 総診, 内(いずれか)                      | 1   | 常勤     |
| 160019 | 医) 相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内, 皮                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医) 和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                 | 小 林 市 | 救急, 総診, 放                        | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医) 友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外, 循内, 整, 脳外                     | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医) 浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精, 内                             | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医) 友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整, 内                             | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医) 三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外, 内, 放, 外, リハ                  | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわかセンター        | 小 林 市 | 内                                | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医) 連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医) 高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                                | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院           | 五ヶ瀬町  | 内, 外                             | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院               | 高千穂町  | 内, 透                             | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院               | 日之影町  | 内, 整                             | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成29年4月13日現在

|                 |                                                                                                                                                    |                                       |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 譲渡物件         | ①宮崎市阿波岐ヶ原町前田 2633番，2634番<br>土地のみ：2022.17㎡ (593.57坪)                                                                                                | 所有者：児湯医師会員<br>(医) 崧雲会 林クリニック          |
|                 | ②西都市中央町2丁目6番地<br>土地：2,280.83㎡ (691.16坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br>1階 674.74㎡ }<br>2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪)<br>3階 177.95㎡ }<br>※別途駐車場あり(20台) | 所有者：西都市西児湯医師会員<br>図師医院跡               |
| 2. 譲渡又は<br>賃貸物件 | ①小林市南西方49番地1<br>土地：1,991.34㎡ (603.43坪)<br>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br>1階 471.41㎡ }<br>2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪)<br>※駐車場あり(30台)                    | 所有者：西諸医師会員<br>(医) 社団 産婦人科<br>生駒クリニック跡 |
|                 | ②日向市鶴町2丁目9番15号<br>土地：792㎡ (240坪)<br>建物：RC造 鉄骨造<br>1階 237.49㎡ }<br>2階 338.25㎡ } 913.99㎡ (276.96坪)<br>3階 338.25㎡ }<br>※別途駐車場あり(10台)                  | 所有者：日向市東臼杵郡医師会員<br>三ヶ尻整形外科跡           |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先 ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、

裏面の用紙をご利用ください。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6550

き  
り  
と  
り  
せ  
ん

お 名 前 :

ご 所 属 :

T E L :

F A X :

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 4 月 25 日

| 5  |   |                                                                                                            | 月  |                                                |                                                                        |
|----|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 月 | 19：00 県内科医会学術委員会                                                                                           | 17 | 水                                              | 19：00 保育支援事業打合せ会                                                       |
| 2  | 火 | 18：00 治験審査委員会<br>19：00 第4回常任理事協議会                                                                          | 18 | 木                                              | 15：00 (日医)日医医療IT委員会<br>18：30 医協会計監査<br>19：00 宮崎市郡医師会5月例会並びにし<br>ののめ医学会 |
| 3  | 水 | (憲法記念日)                                                                                                    |    |                                                |                                                                        |
| 4  | 木 | (みどりの日)                                                                                                    |    |                                                |                                                                        |
| 5  | 金 | (こどもの日)                                                                                                    | 19 | 金                                              |                                                                        |
| 6  | 土 |                                                                                                            | 20 | 土                                              | 14：30 産業医部会総会・研修会(TV<br>会議)                                            |
| 7  | 日 |                                                                                                            | 21 | 日                                              | 16：00 河野しゅんじ県政報告会                                                      |
| 8  | 月 |                                                                                                            | 22 | 月                                              | 19：00 広報委員会<br>19：00 県臨床研修・専門研修運営協<br>議会WG                             |
| 9  | 火 | 18：40 医協理事会<br>19：00 第5回常任理事協議会                                                                            |    |                                                |                                                                        |
| 10 | 水 | 14：00 (日医)都道府県医師会勤務医担当<br>理事連絡協議会<br>16：00 支払基金幹事会<br>19：00 県警察医会協議会                                       | 23 | 火                                              | 18：20 医協打合せ会<br>19：00 第7回常任理事協議会                                       |
|    |   | 24                                                                                                         | 水  | 13：00 全国医師国保組合連合会代表者会                          |                                                                        |
|    |   | 25                                                                                                         | 木  | 15：00 (日医)日医公衆衛生委員会                            |                                                                        |
| 11 | 木 | 19：30 県産婦人科医会常任理事会                                                                                         | 26 | 金                                              | 17：00 九州各県保健医療福祉主管部長<br>・九州各県医師会長合同会議                                  |
| 12 | 金 | 19：00 認知症サポート医フォローアップ<br>研修会(TV会議)                                                                         |    |                                                |                                                                        |
| 13 | 土 | 15：00 各郡市医師会等職員研修会                                                                                         | 27 | 土                                              | 13：00 新生児蘇生法講習会<br>16：00 死体検案研修会                                       |
| 14 | 日 |                                                                                                            | 28 | 日                                              | 10：00 日医かかりつけ医機能研修制<br>度応用研修会                                          |
| 15 | 月 | 16：30 宮大医学部カリキュラム委員会<br>19：00 広報委員会                                                                        | 29 | 月                                              | 19：00 県内科医会理事会<br>19：00 県糖尿病対策推進会議幹事会                                  |
| 16 | 火 | 14：40 (日医)日医連常任執行委員会<br>15：00 (日医)都道府県医師会長協議会<br>17：00 (日医)日医連執行委員会<br>18：30 明日の医療を語る会<br>19：00 第6回常任理事協議会 |    |                                                | 30                                                                     |
|    |   | 31                                                                                                         | 水  | 15：00 労災診療指導委員会<br>18：00 医協理事会<br>18：30 県医監事監査 |                                                                        |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成29年 4 月 25 日

| 6 月 |   |       |                                  |
|-----|---|-------|----------------------------------|
| 1   | 木 | 19:00 | 県内科医会評議員会                        |
| 2   | 金 | 14:00 | (日医)救急災害医療対策委員会                  |
| 3   | 土 | 14:30 | 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会         |
|     |   | 16:00 | 九医連常任委員会                         |
|     |   | 17:00 | 九州ブロック日医代議員連絡会議                  |
|     |   | 17:10 | 全国医師協同組合連合会購買部・福祉部合同研修会          |
| 4   | 日 | 8:30  | 九州連合産科婦人科学会・九州ブロック産婦人科医会         |
|     |   | 17:10 | 全国医師協同組合連合会購買部・福祉部合同研修会          |
|     |   |       |                                  |
| 5   | 月 | 19:00 | 県有床診療所協議会役員会                     |
| 6   | 火 | 15:00 | 県学校保健会理事・評議員会                    |
|     |   | 16:00 | 学校保健・学校安全に係る表彰審査会                |
|     |   | 18:00 | 治験審査委員会                          |
|     |   | 19:00 | 第1回理事会                           |
|     |   | 終了後   | 第3回全理事協議会                        |
| 7   | 水 | 15:30 | (日医)日医医療秘書認定試験委員会                |
| 8   | 木 | 19:30 | 県産婦人科医会常任理事会                     |
| 9   | 金 | 17:30 | 宮大医学部6年生対象マッチング&県内基幹型臨床研修病院合同説明会 |
| 10  | 土 |       | 県内科医会総会                          |
|     |   | 14:30 | 産業医研修会(実地)                       |
|     |   | 15:00 | 日向市東臼杵郡医師会定時総会                   |
| 11  | 日 | 13:00 | 医療メディエーター養成研修会導入編                |
| 12  | 月 |       |                                  |
| 13  | 火 | 19:00 | 第8回常任理事協議会                       |
| 14  | 水 | 16:00 | 支払基金幹事会                          |
| 15  | 木 | 19:00 | 広報委員会                            |
| 16  | 金 | 13:30 | 宮大経営協議会                          |
|     |   | 15:40 | 宮大学長選考会議                         |
| 17  | 土 | 14:30 | 医協通常総代会                          |
|     |   | 15:05 | 県医連執行委員会                         |
|     |   | 15:30 | 県医定例代議員会                         |
|     |   | 16:45 | 国政報告会                            |
|     |   | 17:30 | 県医総会                             |
|     |   |       | 国保審査                             |
| 18  | 日 | 10:30 | e レジフェア in 福岡                    |
| 19  | 月 |       |                                  |
| 20  | 火 | 19:00 | 第9回常任理事協議会                       |
| 21  | 水 | 19:00 | 広報委員会                            |
| 22  | 木 |       |                                  |
| 23  | 金 | 14:00 | 県移植推進財団評議員会                      |
|     |   | 17:30 | 西諸医師会定時総会                        |
| 24  | 土 | 16:00 | 県専門医プログラム合同説明会                   |
|     |   | 19:00 | 九州ブロック日医代議員連絡会懇親会                |
| 25  | 日 | 9:00  | (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議              |
|     |   | 9:30  | (日医)日医定例代議員会                     |
| 26  | 月 |       |                                  |
| 27  | 火 | 19:00 | 第10回常任理事協議会                      |
| 28  | 水 | 14:00 | (日医)日医学術推進会議                     |
|     |   | 15:00 | 労災診療指導委員会                        |
| 29  | 木 |       |                                  |
| 30  | 金 | 18:30 | 全国有床診療所連絡協議会総会                   |
|     |   | 18:40 | 会長招宴                             |
|     |   | 19:00 | 勤務医部会前期講演会                       |

※都合により、変更になることがあります。  
 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日 本 医 師 会 生 涯 教 育 講 座 認 定 学 会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                                    | 演 題                                                                                                         | CC<br>(単位)<br>がん検診                                    | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎市郡外科医会<br>5 月例会<br>5 月 8 日(月)<br>19：30～20：30<br>宮崎観光ホテル                   | 肺癌の治療戦略 温故知新<br>宮崎大学医学部外科学講座<br>呼吸器・乳腺外科学分野病院教授 富田 雅樹                                                       | 1<br>(0.5)<br><br>46<br>(0.5)                         | ◇主催<br>宮崎市郡外科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                                |
| 平成29年度心臓検<br>診一次検討会(前<br>期)<br>5 月 9 日(火)<br>19：30～20：30<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館 | 症例検討会<br>なかむら内科循環器内科院長 中村 剛之                                                                                | 11<br>(0.5)<br><br>43<br>(0.5)                        | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓病検診班<br>(連絡先)<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222                     |
| 日向市東臼杵郡医<br>師会学術講演会<br>5 月10日(水)<br>19：00～20：40<br>ホテルベルフォー<br>ト日向          | 大動脈弁狭窄症を合併した心不全患者の治療について<br>宮崎県立延岡病院循環器内科部長 山本 展誉<br><br>心腎連関を踏まえた次世代の心不全治療<br>富山大学医学薬学研究部内科学第二教授<br>絹川 弘一郎 | 24<br>(0.5)<br><br><br>12<br>(0.5)<br><br>45<br>(0.5) | ◇主催<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>◇共催<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>大塚製薬(株) |

| 名称・日時・場所                                                                 | 演 題                                                                                                                                                                                                                            | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>5月11日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館             | <b>職場における糖尿病対策</b><br>産業保健相談員・都城市郡医師会病院副院長<br>中津留 邦展<br><br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                                                                                                                     | 5<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>76<br>(0.5)<br><br>82<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                              |
| <b>第111回江南医療<br/>連携の会症例検<br/>討会</b><br>5月11日(木)<br>19:00～20:45<br>宮崎江南病院 | <b>最近の大腸手術症例</b><br>宮崎江南病院外科<br>平島 忠寛<br><br><hr/> <b>甲状腺機能亢進症を基礎疾患として発症したと思われ<br/>る両心室型たこつぼ心筋症の1例</b><br>宮崎江南病院(内科症例)検査室<br>黒木 恵美<br><br><hr/> <b>膝蓋骨骨折に対する従来法とAI wiring systemを用いた<br/>骨接合術との比較</b><br>宮崎江南病院整形外科医長<br>坂田 勝美 | 50<br>(0.5)<br><br><br>42<br>(0.5)<br><br><br>57<br>(0.5)           | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院地域連携室<br>☎0985-52-4004                              |
| <b>延岡医学会学術講<br/>演会</b><br>5月12日(金)<br>19:00～20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡      | <b>VTE治療におけるNOACの使用経験</b><br>宮崎県立延岡病院循環器内科医長<br>日下 裕章<br><br><hr/> <b>最新の心房細動治療とその意義を考える</b><br>九州大学病院循環器内科冠動脈疾患治療部講師<br>向井 靖                                                                                                  | 73<br>(0.5)<br><br><br><br>78<br>(1.0)                              | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>ブリストル・マイヤーズスクイブ㈱<br>ファイザー㈱<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |

| 名称・日時・場所                                                             | 演 題                                                                                | CC<br>(単位)<br>がん検診                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>5月12日(金)<br>19:50～20:50<br>宮崎観光ホテル              | 第3の死因, thromboembolism, を考える<br>岡山大学医歯薬学総合研究科循環器内科学教授<br>伊藤 浩                      | 1<br>(0.5)<br>24<br>(0.5)                 | ◇主催<br>宮崎市郡内科医会<br>◇共催<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434              |
| 延岡医師漢方研<br>究会<br>5月13日(土)<br>16:00～17:30<br>延岡市医師会病院                 | 不定愁訴に使える漢方<br>－抑うつ・不安・めまい・女性の悩みなど－<br>久留米大学医療センター副院長<br>先進漢方治療センター教授<br>恵紙 英昭      | 31<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>83<br>(0.5) | ◇主催<br>延岡医師漢方研究会<br>◇共催<br>(株)ツムラ<br>延岡市西臼杵郡薬剤師会<br>◇後援<br>※延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
| 宮崎市郡産婦人科<br>医会 5月総会・乳<br>がん検診講演会<br>5月15日(月)<br>19:30～21:00<br>県医師会館 | 乳がん検診における要精査症例の検討<br>All About Breast 乳腺外科クリニック院長<br>町田 英一郎                        | 9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>①            | ◇主催<br>宮崎市郡産婦人科医会<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                              |
| 南那珂医師会生涯<br>教育医学会<br>5月16日(火)<br>18:50～20:00<br>南那珂医師会館              | 難治性呼吸器疾患の診断と治療<br>－間質性肺炎とCOPDを中心として－(仮)<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>神経呼吸内分泌代謝学分野助教<br>松元 信弘 | 45<br>(1.0)                               | ◇主催<br>南那珂医師会<br>◇共催<br>日本ベーリンガーインゲルハイム(株)<br>(連絡先)<br>南那珂医師会<br>☎0987-23-3411      |

| 名称・日時・場所                                                                         | 演 題                                                                                                              | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                        |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>5月17日(水)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                     | <b>職場のメンタルヘルスの重要性</b><br>産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授<br>鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                           | 1<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会     |
| <b>佐土原地区医師会<br/>学術講演会</b><br>5月17日(水)<br>19:00～20:40<br>シーガイアコンベンションセンター         | <b>DOAC時代における静脈血栓塞栓症の診療について</b><br>宮崎市郡医師会病院循環器内科医長 松浦 広英<br>高年齢心房細動のトータルケア<br>日本医科大学医学研究科循環器内科学分野<br>大学院教授 清水 渉 | 73<br>(0.5)<br>19<br>(1.0)                              | ◇主催<br>佐土原地区医師会<br>◇共催<br>※第一三共(株)<br>☎0985-23-5710          |
| <b>西諸医師会・西諸<br/>内科医会合同学術<br/>講演会</b><br>5月18日(木)<br>19:00～20:30<br>ガーデンベルズ<br>小林 | <b>非弁膜症性心房細動合併症に対するPCIを考える</b><br>人吉医療センター循環器内科部長 中村 伸一                                                          | 40<br>(0.5)<br>47<br>(0.5)<br>49<br>(0.5)               | ◇主催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>◇共催<br>西諸内科医会<br>バイエル薬品(株) |

| 名称・日時・場所                                                                                | 演 題                                                                 | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>5月18日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                            | <b>高ストレス者の面接指導</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 5<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)<br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会       |
| <b>宮崎市郡医師会 5<br/>月例会並びにしの<br/>のめ医学会特別講<br/>演会</b><br>5月18日(木)<br>19:00～21:30<br>宮崎観光ホテル | <b>MRIによる画像診断の進歩</b><br>宮崎大学医学部病態解析医学講座<br>放射線医学分野教授<br>平井 俊範       | 0<br>(0.5)                                              | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                               |
| <b>平成29年度心臓検<br/>診二次検討会(前<br/>期)</b><br>5月19日(金)<br>19:30～20:30<br>日向市東臼杵郡<br>医師会館      | <b>症例検討会</b><br>なかむら内科循環器内科院長<br>中村 剛之                              | 33<br>(0.5)<br>44<br>(0.5)                              | ◇主催<br>日向市東臼杵郡医師会心臓検診班<br>(連絡先)<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222 |

| 名称・日時・場所                                                                                                                        | 演 題                                                                                                                     | CC<br>(単位)<br>がん機 | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第87回九州眼科<br/>学会</b><br>5月19日(金)<br>8:30～18:50<br>5月20日(土)<br>8:30～17:55<br>5月21日(日)<br>9:00～14:55<br>宮崎観光ホテル<br>参加費: 13,000円 | (1日目 9:52～10:52)<br><b>Rho-ROCK シグナルと眼圧制御機構</b><br>熊本大学生命科学研究部眼科学分野教授<br>谷原 秀信                                          | 36<br>(1.0)       | ◇主催<br>※宮崎大学医学部眼科学教室<br>☎0985-85-2806<br>◇主催<br>※宮崎大学医学部眼<br>科学教室<br>0985-85-2806 |
|                                                                                                                                 | (1日目 12:15～13:15)<br><b>患者様のQOL向上のために!</b><br>鶴見大学歯学部眼科学教授 藤島 浩<br>愛媛大学大学院医学系研究科視機能再生学講座<br>准教授 溝上 志朗                   | 36<br>(1.0)       |                                                                                   |
|                                                                                                                                 | (1日目 15:28～16:28)<br><b>前眼部手術マネジメント</b><br><b>ー白内障手術の屈折と周産期の対策についてー</b><br>新城眼科医院長 沖田 和久<br>鹿児島宮田眼科院長 大谷 伸一郎            | 36<br>(1.0)       |                                                                                   |
|                                                                                                                                 | (1日目 17:50～18:50)<br><b>最新の加齢黄斑変性治療</b><br>聖隷浜松病院眼科部長 尾花 明<br>日本赤十字社長崎原爆病院眼科部長<br>脇山 はるみ                                | 36<br>(1.0)       |                                                                                   |
|                                                                                                                                 | (2日目 9:11～10:11)<br><b>白内障の視機能とQOLに与える影響</b><br>金沢医科大学眼科主任教授 佐々木 洋<br>奈良県立医科大学眼科学教室教授 緒方 奈保                             | 36<br>(1.0)       |                                                                                   |
|                                                                                                                                 | (2日目 12:00～13:00)<br><b>“着色or 非着色 眼内レンズ(IOL)の温故知新”</b><br><b>あなたはどちらを選択しますか</b><br>宮田眼科病院診療部長 森 洋斉<br>山王病院アイセンター長 清水 公也 | 36<br>(1.0)       |                                                                                   |

| 名称・日時・場所                                                                                                                  | 演 題                                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診                                     | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>第87回九州眼科学会</b><br>5月19日(金)<br>8:30～18:50<br>5月20日(土)<br>8:30～17:55<br>5月21日(日)<br>9:00～14:55<br>宮崎観光ホテル<br>参加費:13,000円 | (2日目 15:00～16:00)<br><b>加齢黄斑変性:病態から考える日常診療のコツ</b><br>名古屋市立大学医学研究科視覚科准教授<br>安川 力          | 36<br>(1.0)                                            | ◇主催<br>※宮崎大学医学部眼科学教室<br>☎0985-85-2806 |
|                                                                                                                           | (3日目 11:50～12:50)<br><b>神話の国で緑内障を学ぶ</b><br>尾崎眼科院長<br>宮崎大学医学部附属病院眼科病院教授<br>尾崎 峯生<br>中馬 秀樹 | 36<br>(1.0)                                            |                                       |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>5月20日(土)<br>15:00～18:30<br>県医師会館                                                                   | <b>労働安全衛生関係法令について</b><br>宮崎労働局労働基準部健康安全課長 中村 朝樹<br>基礎研修(後期)・生涯研修(更新):1.5単位               | 6<br>(0.5)<br>12<br>(0.5)<br>13<br>(0.5)               | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118       |
|                                                                                                                           | <b>PM2.5と健康障害</b><br>岡山大学医歯薬学総合研究科教授 萩野 景規<br>基礎研修(後期)・生涯研修(専門):2単位                      | 7<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>45<br>(0.5) |                                       |

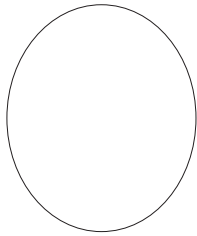
| 名称・日時・場所                                                                      | 演 題                                                                       | CC<br>(単位)<br>がん検診                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>延岡医学会学術講演会(第51回宮崎県北地区整形外科医会)</b><br>5月26日(金)<br>19:00～21:10<br>ホテルメリージュ 延岡 | <b>運動器慢性疼痛に対する薬物治療戦略</b><br>三財病院副院長・整形外科部長 松本 英裕                          | 60<br>(0.5)                                       | ◇主催<br>延岡医学会<br>◇共催<br>宮崎県北地区整形外科医会<br>田辺三菱製薬(株)<br>ヤンセンファーマ(株)<br>(連絡先)<br>延岡市医師会<br>☎0982-21-1300 |
|                                                                               | <b>関節リウマチ治療におけるTNF<math>\alpha</math>阻害剤使用の最適化</b><br>松原リウマチ科整形外科院長 松原 三郎 | 77<br>(0.5)<br><br>19<br>(0.5)<br><br>61<br>(0.5) |                                                                                                     |
| <b>平成29年度宮崎県医師会死体検案研修会</b><br>5月27日(土)<br>16:00～18:00<br>県医師会館                | <b>警察における死体取り扱いについて</b><br>宮崎県警察本部刑事部捜査第一課検視官室長 中村 一雅                     | 6<br>(0.5)                                        | ◇主催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>◇共催<br>宮崎県警察医会                                                   |
|                                                                               | <b>縦隔気腫で死亡した男子高校生の1例</b><br>柳田病院 柳田 美津郎                                   | 12<br>(0.5)                                       |                                                                                                     |
|                                                                               | <b>死体検案(仮)</b><br>福岡県医師会監事, 福岡県警察医会長<br>大木整形・リハビリ医院理事長 大木 實               | 1<br>(1.0)                                        |                                                                                                     |
| <b>第115回宮崎市郡医師会病院心臓病研究会</b><br>5月30日(火)<br>18:50～20:30<br>宮崎観光ホテル             | <b>仰臥位にて著明な低酸素血症を来した胸部上行大動脈瘤の一例</b><br>藤元総合病院循環器内科 尾辻 秀章                  | 15<br>(0.5)                                       | ◇主催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>◇共催<br>サノフィ(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119                     |
|                                                                               | <b>冠動脈疾患における脂質管理－当院の実態も含めて－</b><br>倉敷中央病院循環器内科主任部長 門田 一繁                  | 75<br>(1.0)                                       |                                                                                                     |
| <b>第208回宮崎県泌尿器科医会</b><br>5月31日(水)<br>19:00～20:30<br>宮崎観光ホテル                   | <b>宮崎大学病院における腎移植成績(仮)</b><br>宮崎大学医学部泌尿器科助教 上村 敏雄                          | 9<br>(0.5)                                        | ◇主催<br>※宮崎県泌尿器科医会<br>☎0985-85-2968<br>◇共催<br>アステラス製薬(株)                                             |
|                                                                               | <b>安全な質の高い腎移植を目指して</b><br>東京女子医科大学泌尿器科学教室教授 田邊 一成                         | 10<br>(1.0)                                       |                                                                                                     |

| 名称・日時・場所                                                                                | 演 題                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>6月1日(木)<br>14:30～16:30<br>県医師会館                             | <b>作業現場における暑熱環境対策</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授<br>江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2単位   | 9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>31<br>(0.5)<br>32<br>(0.5) | ◇主催<br>宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                    |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>6月7日(水)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                             | <b>ストレスチェック制度導入ガイド</b><br>産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授<br>鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会：2単位  | 1<br>(0.5)<br>5<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                   |
| <b>第21回宮崎NST<br/>研究会</b><br>6月10日(土)<br>15:00～18:25<br>メディキット県民<br>文化センター<br>参加費：1,000円 | <b>静脈栄養に関する話題(仮)</b><br>大阪大学国際医工情報センター<br>栄養デバイス未来医工学共同研究部門特任教授<br>井上 善文 | 10<br>(1.0)<br>22<br>(0.5)                              | ◇主催<br>宮崎NST研究会<br>◇共催<br>宮崎県プライマリ研究会<br>宮崎県栄養士会<br>宮崎県病院薬剤師会<br>※㈱大塚製薬工場<br>☎096-359-1808 |
| <b>宮崎県医師会産業<br/>医研修会</b><br>6月22日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館                            | <b>メンタルヘルス—パーソナリティ障害—</b><br>産業保健相談員・都城新生病院<br>前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位   | 1<br>(2.0)                                              | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                   |

| 名称・日時・場所                                                                        | 演 題                                                                           | CC<br>(単位)<br>がん検診                                                  | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>第74回宮崎整形外科懇話会</b><br>6月24日(土)<br>18:00～19:00<br>県医師会館<br><br>参加費: 1,000円     | <b>小児整形外科疾患の保存療法と育児指導</b><br>仙台赤十字病院副院長(整形外科主任部長)<br>東北大学整形外科臨床教授 北 純         | 62<br>(1.0)                                                         | ◇主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>◇共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大正富山医薬品(株)<br>(連絡先)<br>宮崎大学医学部整形外科<br>☎0985-85-0986 |
| <b>第134回 宮崎県皮膚科懇話会・第17回日本臨床皮膚科医会宮崎県支部会</b><br>6月24日(土)<br>18:00～19:00<br>県立宮崎病院 | <b>急性腎障害と慢性腎障害<br/>ー特に薬剤との関与についてー</b><br>古賀総合病院腎臓内科部長 久永 修一                   | 17<br>(0.5)<br><br>66<br>(0.5)                                      | ◇主催<br>宮崎県皮膚科医会<br>◇共催<br>日本臨床皮膚科医会宮崎県支部<br>(連絡先)<br>たじり皮膚科医院<br>☎0985-84-1110              |
| <b>宮崎木曜会創立記念講演会</b><br>6月29日(木)<br>19:30～20:30<br>MRT-micc                      | <b>大腸鋸歯状病変の診断と治療適応</b><br>札幌医科大学医学部消化器内科学講座准教授<br>札幌医科大学附属病院消化器内視鏡センター長 山野 泰穂 | 53<br>(0.5)<br><br>54<br>(0.5)<br><br>(大腸)                          | ◇主催<br>宮崎木曜会<br>◇共催<br>※EAファーマ(株)<br>☎092-283-7250                                          |
| <b>宮崎県医師会産業医研修会</b><br>7月6日(木)<br>19:00～21:00<br>県医師会館                          | <b>メンタルヘルス不調の労働者の事例検討</b><br>産業保健相談員・宮崎県立看護大学教授 江藤 敏治<br><br>生涯研修の専門研修会: 2単位  | 5<br>(0.5)<br><br>11<br>(0.5)<br><br>69<br>(0.5)<br><br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会                                    |

| 名称・日時・場所                                             | 演 題                                                                                                      | CC<br>(単位)<br>がん検診                                      | 主催・共催・後援<br>※ = 連 絡 先                                    |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月12日(水)<br>14:00～16:00<br>県医師会館 | ストレスに如何に対処するか<br>産業保健相談員・宮崎大学医学部名誉教授<br>鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                           | 1<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)<br>69<br>(0.5)<br>70<br>(0.5) | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月20日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館 | まだ化学物質リスクアセスメントをやっていない事業<br>所のための化学物質リスクアセスメントのやり方<br>産業保健相談員<br>西部労働衛生コンサルタント事務所 矢崎 武<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | 1<br>(0.5)<br>7<br>(0.5)<br>9<br>(0.5)<br>11<br>(0.5)   | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月21日(金)<br>19:00～21:00<br>県医師会館 | 注意すべき精神障害の鑑別診断(Ⅰ)<br>産業保健相談員・西都病院 植田 勇人<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                                | 1<br>(2.0)                                              | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>7月27日(木)<br>14:00～16:00<br>県医師会館 | メンタルヘルス—ラインケアこんな時どうする—<br>産業保健相談員・都城新生病院 前原 正法<br>生涯研修の専門研修会：2単位                                         | 1<br>(2.0)                                              | ◇主催<br>※宮崎産業保健総合支援センター<br>☎0985-62-2511<br>◇共催<br>宮崎県医師会 |

## 診療メモ



## 経皮感作について

にしだ皮膚科 にしだ 西 田 隆 昭 たか あき

英国のLackらが「経皮的に食物アレルギーに曝露されると感作が成立し、適切な量とタイミングで経口摂取された食物は免疫寛容を誘導する」という二重抗原曝露仮説を発表しました。海外ではピーナッツアレルギーが大きな問題で、初めてピーナッツを摂取した児でも発症することがあるため、経口以外での感作成立の可能性がいわれていました。ピーナッツオイルの皮膚への塗布や、家庭のホコリ、汚れなどに混入しているピーナッツ抗原の量とピーナッツアレルギーとの関連を示すデータや、ピーナッツを小児の早い時期から経口摂取する方がピーナッツアレルギーを発症しにくいとの疫学的データがあり、これらの結果から上記仮説が提唱されました。

この仮説ですべての感作、アレルギー発症が説明できるわけではありませんが、この仮説はその後食物アレルギーの研究に大きな影響を及ぼし、「食物アレルギーの発症は皮膚感作から、治癒は腸管耐性から。避けて治すから食べて治すへ」という考え方につながり、それを支持する研究結果も国内外から多数報告されるようになりました。以下いくつか例を挙げていきます。

## 1) ラテックスアレルギー

天然ゴム製の手袋や医療器具でラテックスに感作されると、バナナ、アボガドなどを摂取した後に口腔違和感や全身性の蕁麻疹、ア

ナフィラキシーを引き起こす、いわゆるラテックス-フルーツ症候群を呈することがあります。これはラテックス蛋白抗原と植物に含有される蛋白抗原との交差反応性に起因しており、この事象は古くから知られていました。経皮感作はこれをうまく説明できる仮説です。

## 2) 加水分解コムギ含有石鹼から的小麦アレルギー

小麦アレルギーにはいろいろな病型があり、このうちの一つがこのタイプです。加水分解コムギグルパール19S®を含有する旧「茶のしずく」石鹼で洗顔しているうちに小麦で感作され、パンやパスタやうどんなどの小麦製品を摂取して、蕁麻疹、アナフィラキシーを引き起こすことがあり社会的にも問題になりました。加水分解コムギとは小麦を分解処理したもので、乳化性や保湿性が良く、その特性から石鹼に添加されました。石鹼は界面活性剤を含み、洗浄による皮脂膜分解、古い角層の除去作用があり、これが皮膚バリア機能の低下にもつながり、感作されやすくなったと考えられます。これは図らずも経皮感作のモデルケースになりました。加水分解コムギ含有石鹼の中止と小麦摂取を控えることで、脱感作が進み、小麦摂取可能となっている方が増えているようです。

### 3) コチニールアレルギー

コチニールはエンジムシという昆虫から抽出された赤色色素で、その際の夾雑物が抗原になっていると考えられています。本邦の報告はほぼ全例成人女性で、口紅などの化粧品からの経皮感作が強く疑われています。感作された方が赤色マカロンを食べて発症した例などが報告されています。コチニールは医薬品、医薬部外品、食品添加物に使われることがあります。その夾雑物蛋白の規制は各国バラバラです。これが含まれる魚肉ソーセージ、イチゴ牛乳による蕁麻疹・アナフィラキシー症例の報告もあります。

### 4) マダニ咬傷からの牛肉アレルギー

マダニ唾液腺中には $\alpha$ -Gal (galactose- $\alpha$ -1,3-galactose)という糖鎖があり、マダニに咬まれることでこれに感作されると、これを共通抗原として牛肉、豚肉、カレイの魚卵、抗がん剤のセツキシマブでもアレルギー反応が出る場合があります。またこの糖鎖は血液型を決めるのに関係しており、A型とO型に発症しやすいことも分かっています。交差反応の重要性和広がりを考えさせられます。

### 5) クラゲ刺傷からの納豆アレルギー

納豆アレルギーの主要抗原はポリガンマグルタミン酸と考えられています。これがクラゲ毒にも含まれています。マリンスポーツ愛好者に納豆アレルギーが多いことから、クラゲ刺傷による経皮感作からの納豆アレルギーが考えられています。

以上経皮感作で説明できるいくつかの例を挙げてみました。米国小児科学会は2000年の声明で、「高アレルギー性食品の離乳期の開始を遅らせること」を推奨していました。当時の『常識的に考えて食べるのを遅らせれば食物アレルギーにはなりにくいはずだ』との考えからでした。その後、本仮説を含めた研究結果の再評価

で、2008年に「2000年の声明は撤回する、離乳食の開始を遅らせてもアレルギー疾患の予防にはならない」と訂正しました。またこの仮説もふまえ、妊婦さん、授乳婦さんの食事指導も変わってきました。一方で食物アレルギー診療ガイドライン2016では経皮感作の扱いは大きくありません。今はまだ仮説の域を出ませんが、今後理論的構築がなお進みもつとはっきりしてくると思います。またこれで全てのアレルギー事象が説明できるわけではなく、感作経路の全てではないことは強調しておきたいと思います。

今度は疑問点として、いくつか挙げてみます。この仮説はもともとはピーナッツアレルギーの外国の研究をもとに提唱されたもので、習慣や環境中のピーナッツ抗原からの感作に關してのものなのですが、これをそのまま日本の幼児の3大抗原といわれる卵、小麦、ミルクに当てはめてよいのか？また「適切な量とタイミングで経口摂取された食物は免疫寛容を誘導する」とありますが、それぞれの食物についていつどのくらいが適切なのかもはっきりしていません。またすでに感作されている方の脱感作のための摂取と、感作されないように摂取することを同じととらえてよいのか。また外界と接する部位に皮膚と鼻、気道系粘膜と消化管粘膜がありますが、鼻、気道系粘膜は線毛や鼻水、くしゃみ、咳といった異物排除系の機構があります。皮膚、呼吸器系はバリアとして排除、防御的に、消化管は吸収的に働きます。本来の性質と目的が違う上皮がどのような形でアレルギーに關与するか、またその制御のしくみも詳しくは見つけきれませんでした。まだ疑問点はたくさんあります。

経皮感作の概念は乳幼児期の食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の管理の大切さなどいろいろな分野に影響を与えた考え方で、今回簡単ではありますがご紹介させていただきました。

医療勤務環境改善支援センターを

## 宮大医学部学生のページ

## カリキュラム変更について

宮崎大学医学部 4 年 <sup>ふた</sup>二 <sup>み</sup>見 <sup>しゅん</sup>旬 <sup>すけ</sup>祐

現在宮崎大学医学部では、新4年生である私たちの学年から大幅に変更されたカリキュラムが行われています。大まかに説明すると現在の5年生以上の学年で行われていたカリキュラムより座学を前倒しにして、臨床実習に出る時期を早め、実習期間を半年長くしています。

まず初めに、この大幅なカリキュラム変更が行われた理由について簡単に説明したいと思います。ご存知の方も多いと思いますが、最も大きな理由は「2023年問題」と呼ばれるものです。これは米国、カナダ以外の医学部卒業生に米国医師国家試験の受験資格を審査するECFMG (Educational Commission for Foreign Medical Graduates) が2010年9月に世界に向けて出した、「2023年から、米国医科大学協会または世界医学教育連盟(WFME ; World Federation for Medical Education) の基準による認証を受けていない医学部の卒業生には米国の医師国家試験受験を認めない」という通告のことです。これにより国際基準を満たしていない現在の日本の医学教育のままでは、2023年以降米国で医師免許を取得することができなくなってしまうため、日本の多くの大学で国際基準を満たそうと、臨床実習の期間を長くしたり、診療参加型の実習を行うなどのカリキュラム見直しが行われています。宮崎大学も例外ではなく、臨床実習期間を長くするためにカリキュラムが大幅に変更されたということです。

1つ上の学年の先輩たちのカリキュラムより半年早まるというのは思った以上に大きな変化であり、良かったと思う点もあれば大変だなと思う点もありました。

まず、私たちのカリキュラムでは細胞生物学という専門基礎科目の授業が1年の前期から行われました。私たちより前の学年では、1年の前期は基礎教養科目しかありませんでしたので、医学生らしい勉強を早い時期からすることができるのは意欲の向上につながり良かったと思います。また以前は2年生から始まっていた解剖学、組織学も1年後期から始まり、試験は大変でしたが医学を学んでいる喜びを感じることができました。

2年生では年度の初めからすぐに解剖実習が始まりました。先輩方より半年早く解剖実習ができるというのはうれしいことではありましたが、今までと時期が大きく違うため苦労もありました。特に部活に所属している生徒にとっては、2年生にとって初めての大きな仕事である新歓の時期に解剖が始まるため、4月は肉体的・精神的疲労が重なる時期となってしまう。2年後期からはカリキュラムが早まっている関係上、1つ上の学年と合同で受ける授業がいくつかあり、3年生ではほとんどの臨床医学科目で合同になりました。2つの学年が同じ教室で授業を受けるというのは不思議な状況でしたが、先輩方の知識の深さを感じ、良い刺激をもらうことができました。

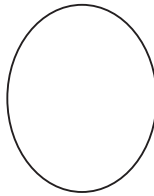
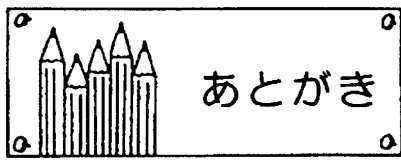
カリキュラムが変わって最初の学年であるため、学生や授業をしてくださる先生方にも戸惑いがあり、苦勞することもあります。早くから臨床実習に出られることをありがたく思い、実習に出るまでの残りの半年間でしっかり勉強をして実習に出たいと思います。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課(TEL 0985-22-5118)までご連絡ください。

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 月 9 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人輸入した美容医療機器の使用について</li> <li>・ 平成28年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3 月10日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母性健康管理に関する周知・啓発資料の送付について(厚生労働省委託「平成28年度母性健康管理推進支援事業」)</li> <li>・ 東日本大震災により被災した被保険者の利用者負担等の減免措置に対する財政支援の延長等について</li> <li>・ 厚生労働省「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」報告書の送付について</li> <li>・ 指定難病の追加等に係る事前周知について</li> <li>・ 平成29年度地域医療介護総合確保基金(医療分)の評価指標の一部見直しについて</li> <li>・ 「産業医活動並びにストレスチェック制度に関するアンケート調査」並びに「医療機関における産業保健活動に関するアンケート調査」について</li> <li>・ 事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン「脳卒中に関する留意事項」、「肝疾患に関する留意事項」について</li> </ul> |
| 3 月13日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レナリドミド製剤及びポマリドミド製剤の使用に当たっての安全管理手順の改訂について</li> <li>・ 「使用上の注意」の改訂について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3 月14日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度における平成28年熊本地震で被災した被保険者の利用料の免除に関する取扱いについて</li> <li>・ 国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 3 月17日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮崎大学医学部附属病院への内科患者の紹介について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3 月21日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 融雪出水期における防災態勢の強化について</li> <li>・ 「地域医療連携推進法人制度について(概要)」について</li> <li>・ 平成29年度宮崎県精神科救急医療システムに係る当番病院について</li> <li>・ 都道府県並びに市町村及び後期高齢者医療広域連合における糖尿病性腎症重症化予防に係る取り組み状況について</li> <li>・ 地域医療構想に関する一部の報道について</li> <li>・ 「医療機関に退蔵されている水銀血圧計等回収マニュアル」の改訂等について</li> <li>・ 平成28年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて</li> </ul>                                                                                                        |
| 3 月22日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度「看護の日」及び「看護週間」について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3 月24日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度県立学校健康管理医報酬額について</li> <li>・ 精神科医療機関とハローワークの連携モデル事業の実施について</li> <li>・ 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」「ヒト受精胚の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針」の一部改正について</li> <li>・ オルトートルイジン及び3,3'-ジクロロ-,4'-ジアミノジフェニルメタン(MOCA)に係る特殊健康診断の適切な実施について</li> <li>・ 死亡した妊婦の検体からオウム病病原体を同定した事例について</li> <li>・ 感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針の一部改正について</li> </ul>                                                                           |

| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱いについて</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了した医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・株式会社エスアールエルにおける「白血病遺伝子検査」の不備について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 3 月 28 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療法人の設立及び解散に係る医療審議会(医療法人等部会)の開催時期について</li> <li>・お薬管理がんばるノート(結核患者を支える地域連携型服薬ノート)改訂版について</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.124」の提供について</li> <li>・平成29年度認知症介護研修事業の実施について</li> <li>・「介護職員処遇改善加算に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」等および「全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料」の送付について</li> <li>・「職場意識改善助成金」リーフレットの送付について</li> <li>・「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の実施について</li> <li>・日本准看護師連絡協議会について</li> </ul>                                                                              |
| 3 月 31 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒等の健康診断の「四肢の検査のポイント」について</li> <li>・エピペン注射液0.3mgの自主回収(クラスⅠ)について(製造番号PS00019A)</li> <li>・「健診等データ暗号化・復号化ソフトVer2.0(平成29年4月版)」について</li> <li>・未成年者禁煙相談事業の終了について</li> <li>・養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況を踏まえた対応の強化等に関する通知の送付について</li> <li>・「有料老人ホームを対象とした指導の強化について」の送付について</li> <li>・ジカウイルス感染症に関する情報提供について</li> <li>・鳥インフルエンザA(H7N9)に関する情報提供について</li> <li>・平成29年度認知症短期集中リハビリテーション研修会(医師対象)(東日本会場)のご案内</li> <li>・「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症等に係る試験検査の実施について」について</li> </ul> |
| 4 月 3 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第44回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会の開催について</li> <li>・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その10)」の送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4 月 4 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防の夜間電話相談窓口等の周知への御協力について</li> <li>・小児慢性特定疾病の追加に係る事前周知について</li> <li>・「肝炎治療特別促進事業におけるソバルディ錠の取扱いについて」および「『肝炎治療特別促進事業の実務上の取扱いについて』の一部改正」について</li> <li>・平成28年度日本医学会分科会への新規加盟について</li> <li>・宮崎県認知症疾患医療センターの指定更新について</li> <li>・地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| 4 月 5 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について</li> <li>・平成28年熊本地震に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について</li> <li>・材料価格基準の一部改正等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 4 月 6 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学生実習の国民向けPRリーフレット及び大卒社会人経験者等への看護師養成所PRポスターについて</li> <li>・タミフルドライシロップ3%, ソバルディ錠400mg, ハーボニー配合錠の効能・効果等の変更に伴う留意事項通知の一部改正について</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・出産育児一時金等の受取代理制度の届出について(平成29年度)</li> <li>・揭示事項等告示の一部改正について(薬価基準関連)</li> </ul>                                                                                                                                                                   |
| 4 月 7 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> <li>・地域医療連携推進法人会計基準適用上の留意事項並びに財産目録、純資産変動計算書及び附属明細表の作成方法に関する運用指針について</li> <li>・NBCR対策推進機構第3回「爆発物対策担当者養成講習会」の開催について</li> <li>・地域医療介護総合確保基金に関する要望について</li> <li>・「予防接種による間違い報告」などについて</li> <li>・「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について</li> <li>・ジカウイルス感染症に関する情報提供について</li> </ul>                                                                                                                                                     |



私が宮崎県医師会広報委員になったのは、今春6年生になった次女がちょうど小学校に入学した時でしたので、とうとう私も広報委員6年生ということになります。このあとがきも何回書いたことでしょう。思い起こすと、1年目の平成24年のあとがきで、新城眼科の院内保育所について報告しました。

1992年に厚生省がまとめた「看護婦等の確保を促進

するための措置に関する基本的な指針」で院内保育の必要性が示されています。当保育園は1980年開園ですので、その当時は全国的にも珍しかったはずであり、その当時院内保育室を作られた新城歌子先生の行動力には本当に脱帽です。37年目を迎えた現在、新城眼科の従業員に限っては少子化問題など無縁で、ベビーブームが続いていると言っても過言ではありません。現在0歳から4歳までの10人の子どもが入所していますが、うち6人は2人目、1人は3人目の子どもです。勤務中に授乳も可能であり、子どもに何かあった時にすぐかけつけられるということは大変喜ばれている点です。結果、出産しても続けて働いてくれる従業員が多く、2人目3人目を生む助けになっているのではないのでしょうか。園の行事であるお誕生会やクリスマス会など、普通であれば仕事を休んで観に行くことになると思いますが、従業員同士でやりくりするなどして仕事の合間に参加できるようになっています。人口減少に歯止めをかけ、女性活躍推進のためには、院内保育所や企業内保育所は今後ますます必要になっていくのではないのでしょうか。

(沖田)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

今年は満開の桜を見ることなく春が過ぎてしまいました。花見に行くことはないのですが、歩道や道路沿いや往診先だったりといくつか自分なりの桜ポイントがありました。気候のせいでしょうか変な咲き方をしているものが多く、そこに雨風が追い打ちをかけ、自分的にはもの足りない春でした。一方で青々と若々しく、エネルギー溢れる葉桜も大好きです。今季はそちらに期待します。(注: 毛虫には十分ご注意ください)

(西田)

＊ ＊ ＊

近所の桜まつりで出店の料理をつまみながらビール片手に桜を愛でるのがこの時期の楽しみのひとつです。今年はなかなか満開になりませんでした。その分何度か足を運んだので少しずつ開花する様子などが観察でき、例年とは少し異なった趣で桜を楽しむことができました。満開になったとたんに春の嵐で一気に散ってしまい、見頃の時期は短かったのですが足を運んだ数だけビール量が増えてしまった今年の桜シーズンでした。

(中村)

＊ ＊ ＊

知人の息子さんが、第一希望の大学に失敗して、第二希望の大学へ入学されました。しかし、2年後、第一希望の大学へ編入するために、また勉強を続けるそうです。なぜそこまでしてこだわるのかというと、彼には諦められない夢があるからだそうです。その夢が、なんと“宇宙飛行士”。子供の頃に描いた夢を諦めない青年の姿は、現実と妥協する大人の私にとって、とても清々しかっこよく感じました。では、私の夢は？妄想癖のある私には、何が夢なのかわかりません。

(野村)

＊ ＊ ＊

広報委員会に参加させていただくのも今年で2年目になりました。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

4月から臨床実習が始まり、慣れないことが多くバタバタと毎日を送っています。初めてのことばかりで要領が良くない部分も多くあり、なかなか時間をうまく使えない自分にイライラしてしまうこともあります。1日1日を大事に頑張っていきたいと思っています。

(馬場)

＊ ＊ ＊

今年度から学生広報委員を務めさせていただくことになりました。宮崎大学医学部4年の二見です。このような宮崎県内の医療に関わることでできる仕事にお誘いいただき大変光栄に思います。文章を書いたり読んだりすることが得意というわけではありませんが、これからしっかりと仕事を学び、精一杯務めさせていただきたいと思っています。これから2年間どうぞよろしくお願いいたします。

(二見)

＊ ＊ ＊

日医会館近くの国指定特別名勝「六義園」は江戸時代に作られた大名庭園の中でも代表的なもので、明治期には三菱の創業者である岩崎彌太郎の別邸となっていたそうです。出張時、大抵は素通りなのですが、先日は少々時間に余裕があり、ちょうどだれ桜が見頃ということで久々に入園しました。高さ15m、幅約20mの大木に流れるように咲くしだれ桜は本当に見事なものでした。ソメイヨシノとはまた違う美しさです。忙しい日常から離れ、すがすがしい気持ちを味わったひとときでした。

(荒木)

＊ ＊ ＊

## 今月のトピックス

### 退任挨拶 宮崎大学医学部小児科…布井博幸教授

布井博幸教授に16年間を振り返っていただきました。全国的な小児科医不足のなか、16年間の長きにわたり宮崎の小児科医療を牽引していただきありがとうございました。  
6 ページ

### 宮崎大学医学部だより 外科学講座

旧来の第1外科、第2外科は統合され、平成27年4月より外科学大講座として運営されています。大講座で専門が多岐にわたるため、今月号と来月号の2回にわたりそれぞれの分野を詳しく紹介していただきます。今月は心臓血管外科学分野、呼吸器・乳腺外科学分野の紹介です。  
16ページ

### 診療メモ 経皮感作について

アレルギーの歴史は古いが、経皮感作というメカニズムが提唱されたのは2000年にはいつてからというごく最近だそうです。皮膚のバリア機能を低下させないよう、スキンケアも重要ということですね。西田隆昭先生に経皮感作の例を挙げていただき、疑問点も含め分かりやすく解説していただきました。  
68ページ

### 宮大医学部学生のページ カリキュラム変更について

私が学生だった頃は、最初の2年間はほとんどが一般教養で、3年生からが専門課程でした。アメリカでは基礎教養を重視し、一般の4年生大学を卒業後メディカルスクールへ進学しているので、日本ももっと基礎教養を深めさせるため、同じシステムにした方がいいとかつては言われていたような気がします。時代は変わり、今は臨床実習期間を長くするため、つまり医学教育の国際基準を満たすべく、逆に専門課程が早まり1年生の後期から解剖学や組織学が始まるようです。がんばれ学生諸君。  
71ページ

広報委員長

## 日 州 医 事 第813号(平成29年 5 月号)(毎月 1 回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 沖田 和久・副委員長 西田 隆昭, 岡本健太郎  
委 員 中村 豪, 野村 勝政, 馬場 萌子, 二見 旬祐  
山崎 俊輔, 稲倉 琢也, 上山 貴子, 柴野 雅資, 泉 摩依  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 立山 幸恵, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)